

■ 2 階植栽計画図

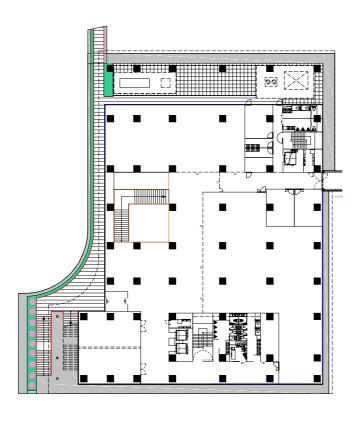
1千 半五		批评方	数量			
種類	凡列	樹種名	数量	単位		
		2F				
花木		ブルーベリー、ノリウツギ など	9.0	本		
灌木類		ジンチョウゲ、ヤマブキ、クチナシ、ヒベリカムカリシナム、 矮性サルスベリ、ローズマリー 立性、センリョウ、 など	39.0	m°		
地被類		ツルコケモモ、ホスタ、斑入り ノシラン、ツワブキ、ハツユキ カズラ、フウチソウ など	19.5	m		

※規格は P.62 に記載している。

■ 4 階植栽計画図

種類	凡列	樹種名	数量			
任主共	7699	例任石	数量	単位		
		4F				
灌木類		クチナシ、ビブルナムティヌ ス、斑入りアセビ、アメリカシ モツケディアポロ、シモツケ、 アジサイ、ヒペリカムカリシナ ム など	31.0	m²		
地被類		西洋イワナンテンレインボー、 西洋イワナンテンアキシラス、 ワイヤープランツ、ベニシダ、 カレックスオシメンシス、ハツ ユキカズラ など	15.5	'n		

※規格は P.64 に記載している。

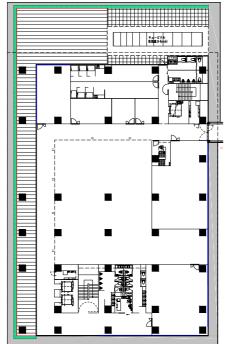


■ 3 階植栽計画図

種類	E 50	樹種名	数量			
性規	凡列	倒性石	数量	単位		
		3F				
花木		ニシキギ、ノリウツギ など	9.0	本		
灌木類		アセビ、ウエストリンギア、ア ベリアエドワードゴーチャ、ヒ ペリカムカリシナム など	30.0	m		
地被類		西洋イワナンテンレインボー、 コクリュウ、タマシダ、斑入り ノシラン、ツワブキ、ハツユキ カズラ など	15.0	"E		

※規格は P.63 に記載している。

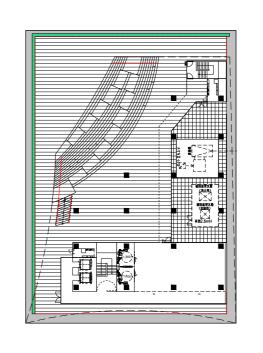
■ 6 階・R 階植栽計画図

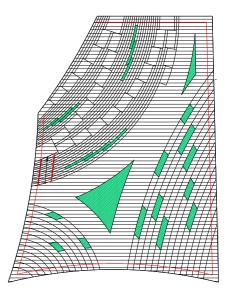


	地被類
	※規格(

经 据	n 5il	松ぼみ	数量			
種類	凡列	樹種名	数量	単位		
		6,RF				
灌木類		ジンチョウゲ、アセビ、ヒラド ツツジ(白・薄ピンク)、ユキ ヤナギ、ヤマブキ、シモツケ ゴールドフレーム、コデマリ、 クチナシ、マホニアコンヒュー サ、センリョウ など	26.8	m		
地被類		アジュガ、斑入りノシラン、ホトトギス、ツワブキ、フウチソウ、タマシダ、ベニシダ など	13.4	'n		

は P.65 に記載している。

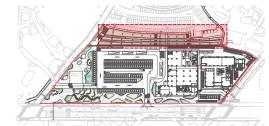




	口可以料理力			規格		数	是	
種類	凡列	樹種名	H(m)	C(m)	W(m)	数量	単位	備考
	ク	クスノキ	8.0	0.85	4.0	14	本	地下支柱(東邦レオ フィット・スーパーマグ地下支柱MG-3)
	ナナ1	ナナミノキ	7.0	0.5	3.2	3	本	地下支柱(東邦レオ フィット・スーパーマグ地下支柱MG-2)
	クロ	クロガネモチ	6.0	0.45	2.8	5	本	地下支柱(東邦レオ フィット・スーパーマグ地下支柱MG-2)
	シ1	シラカシ	6.0	0.85	4.0	5	本	地下支柱(東邦レオ フィット・スーパーマグ地下支柱MG-2)
	シ2	シラカシ	5.0	株立	2.8	7	本	地下支柱(東邦レオ フィット・スーパーマグ地下支柱MG-2)
常緑高木	ヤマ2	常緑ヤマボウシ	5.0	株立	2.5	4	本	地下支柱(東邦レオ フィット・スーパーマグ地下支柱MG-2)
	ナナ2	ナナミノキ	4.5	株立	2.5	2	本	地下支柱(東邦レオ フィット・スーパーマグ地下支柱MG-2)
	у1	ソヨゴ	4.0	株立	2.0	3	本	地下支柱(東邦レオ フィット・スーパーマグ地下支柱MG-1)
	72	ソヨゴ	3.0	株立	1.4	10	本	地下支柱(東邦レオ フィット・スーパーマグ地下支柱MG-1)
	, , ,	小計	5.0	- PK-JZ	1.7	53	本	2 T X C (X/NV 3) T T T X T T T X T T T X T T T X T T T X T T T X T X T T X T T X T T X T T X X T X T X T X T X X T X X T X X T X X T X X T X X T X X T X X T X X T X X T X X T X X T X X T X
	ナン1	ナンキンハゼ	8.0	0.55	3.8	2	本	地下支柱(東邦レオ フィット・スーパーマグ地下支柱MG-3)
	ナン2	ナンキンハゼ	7.0	0.5	3.2	8	本	地下支柱(東邦レオ フィット・スーパーマグ地下支柱MG-2)
	セ	センダン	7.0	0.5	3.8	3	本	地下支柱(東邦レオ フィット・スーパーマグ地下支柱MG-2)
	ネ	ネムノキ	6.5	0.45	4.0	5	本	地下支柱(東邦レオ フィット・スーパーマグ地下支柱MG-2)
落葉高木	ヤマ1	ヤマボウシ	6.0	0.45	2.5	7	本	地下支柱(東邦レオ フィット・スーパーマグ地下支柱MG-2)
MANINA	ヤ	ヤマザクラ	6.0	0.55	3.5	26	本	地下支柱(東邦レオ フィット・スーパーマグ地下支柱MG-2)
	サル	サルスベリ	5.0	0.35	2.8	16	本	地下支柱(東邦レオ フィット・スーパーマグ地下支柱MG-2)
	/\	ハナモモ	3.5	0.33	1.5	12	本	地下支柱(東邦レオ フィット・スーパーマグ地下支柱MG-1)
	, ,	小計	5.5	0.5	1.5	79	本	元 大位 (未がい) ブイブ バーバース (大位 Mu 1)
	サ	サザンカ	2.5-3.0		1.0-1.6	8	本	八ツ掛支柱
	+	キンモクセイ	2.5-3.0		1.0-1.8	12	本	八ツ掛支柱
常緑中木	タ	タチバナ	2.5-3.0		1.2-1.8	20	本	八ツ掛支柱
			2.3-3.0		1.2-1.0	40	本	八八田文仁
花木	2			0.8-1.2		94	本	ガマズミ、ツリバナマユミ、アオキ、カラタネオガタマ、クロフネツツジ など ニシキギ、ムラサキシキブ、センリョウ、シャクナゲ など
		小計				112	本	
灌木類	灌木	灌木類寄せ植え	0.3-0.5	_	_	605.0	m²	8株/㎡ シャリンバイ、ハマヒサカキ、カンツバキ、アセビ、ヒラドツツジ (白/薄ピンク)、ドウダンツツジ、アジサイ、ウエストリンギア、 ローズマリー立性 など
	地被1	ハイビャクシン	0.3	_	_	481.3	m²	Ф150mm 15p/m2
	地被2	タマリュウマット+下草2	0.3	_	_	125.5	m³	Φ150mm 15p/m2 下草2 (Φ150mm 2pot/m2)
地被類	下草	地被類寄せ植え	_	cmvp	_	103.1	m²	フッキソウ、カレックス、ツワブキ、オニヤブソテツ など
	芝生	ヒメコウライ芝 +下草2	_	_	_	1821.5	m²	芝:目地無し べた張り 下草2 (Φ150mm 2pot/m2)
	下草2	地被類寄せ植え	_		_			ツワブキ、ベニシダ、ホトトギス、カレックス など

古墳ストリート - 埴輪の様に古墳を見守る花木

・整然と並ぶ花木がまるで埴輪の様に、西に広がる古墳 を見守っています。

















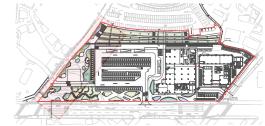




◎:結実時期

市民広場 - 花と香りで楽しむ四季彩空間

・季節によって表情を変える花と香りが、人々が集う広場を美しく彩ります。





2. 建築計画

グリーンストリート - 四季も楽しめる木漏れ日空間

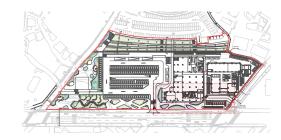
・花や葉が季節によって表情を変え、木漏れ日の中行き交う人々を楽しませてくれます。

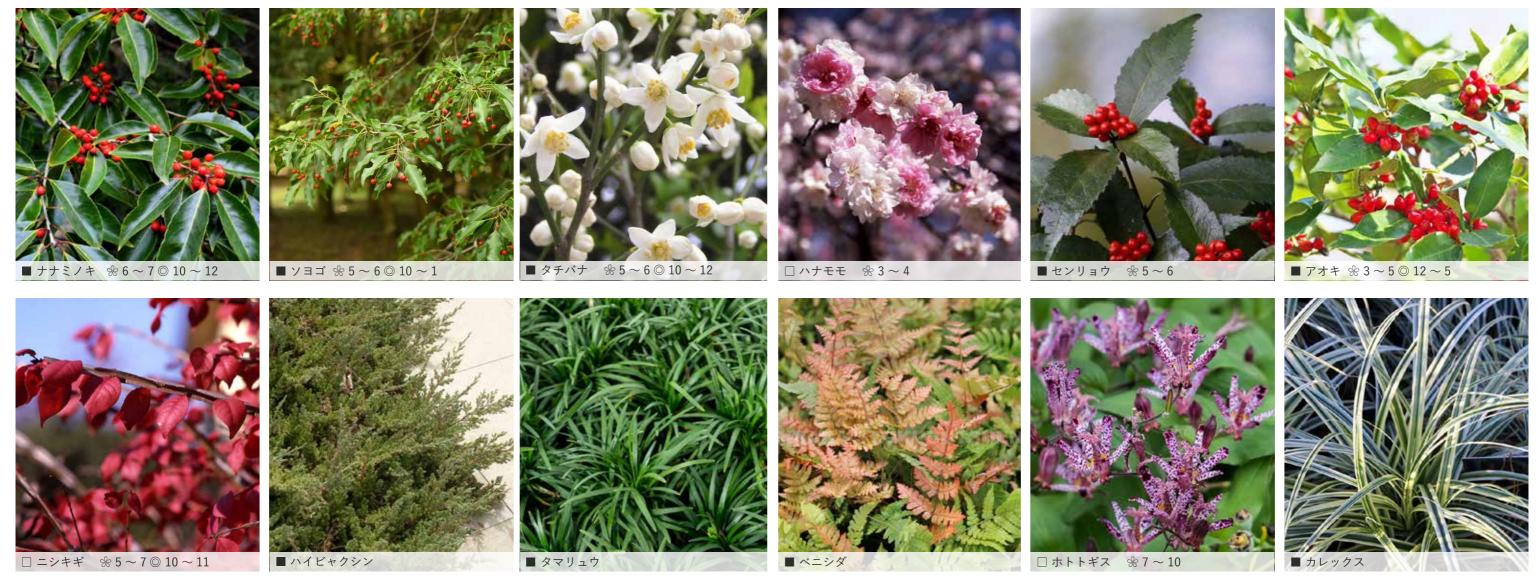




エントランスエリア - 街の樹と明るい葉色が演出するエントランス空間

・市の木であるタチバナと市の花のモモを市役所の顔となるエントランスに配置し、明るい緑とともに来庁者を迎え入れます。





■:常緑樹 □:落葉樹 ※:開花時期 ◎:結実時期

22. 緑化計画【植栽リスト -2F】

2. 建築計画

2階-香りや実が楽しめる樹種

・親子連れが多く訪れるフロアのため、香りや実を楽しめるものにしています。

・親子連れ	れが多く訪れるこ	/ ப / 0) 7	にめ、合り	ノヤ夫を栄	きしめるも	のにしてし	`ます。	
種類	樹種名	H(m)	規格 C(m)	W(m)	数量	並量 単位	備考	
					- 2	2 F		
花木	花木	1.0		0.8	9.0	本	ブルーベリー、ノリウツギ 等	
灌木類	灌木類寄せ植え	0.3-0.5	_	_	39.0	m³	8株/㎡ ジンチョウゲ、ヤマブキ、クチナシ、ヒペリカムカリシナム、矮性サル スベリ、ローズマリー立性、センリョウ、 など	
地被類	地被類寄せ植え	_	cmvp	_	19.5	m²	Φ90-150mm Φ90mm: 49p/m2 Φ150mm: 25p/m2 ツルコケモモ、ホスタ、斑入りノシラン、ツワブキ、ハツユキカズラ、フウチソウ など	■ ブルーベリー ③ 6 ~ 9 □ ノリウツギ ※ 7 ~ 9
■ジンチョ	aウゲ ※ 2 ~ 4		ヤマブキ	* 4		■ クチナシ	■ ヒペリカム・カリシナム ※ 6 ~ 7 ※ 6 ~ 10 ◎ 10 ~ 11	□ 矮性サルスペリ % 7~10 ■ ローズマリー (立性) % 11~5 ■ センリョウ ◎ 12~2
	-EE			Ø %7~			■ 斑入りノシラン ※ 7~8	3 10 ~ 12
								■:常緑樹 □:落葉樹 ※:開花時期 ◎:結実時期

22. 緑化計画【植栽リスト -3F】

3階-花や葉のコントラストの美しい樹種

会議室 ²	や執務室から映る T	る、花や野 T		なす美しぃ 			じることができる計画としています。 T		
	樹種名	H(m)	規格 C(m)	W(m)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	数量 —————— 単位	備考		A. I
						3F			
花木	花木	1		0.8	9.0	本	ニシキギ、ノリウツギ 等		
灌木類	灌木類寄せ植え	0.3-0.5	_	_	30.0	m²	8株/㎡ アセビ、ウエストリンギア、アベリアエドワードゴーチャ カリシナム など	ヤ、ヒペリカム	A 4
地被類	地被類寄せ植え	_	стур	-	15.0	m²	Φ90-150mm Φ90mm: 49p/m2 Φ150mm: 25p/m2 西洋イワナンテンレインボー、コクリュウ、タマシダ、野ン、ツワブキ、ハツユキカズラ など	斑入りノシラ □ ノリウツギ ※ 7 ~ 9	
]=>++	F			ウツギ %	7~8		T	$ \begin{array}{c} \blacksquare \\ \neg \neg$	

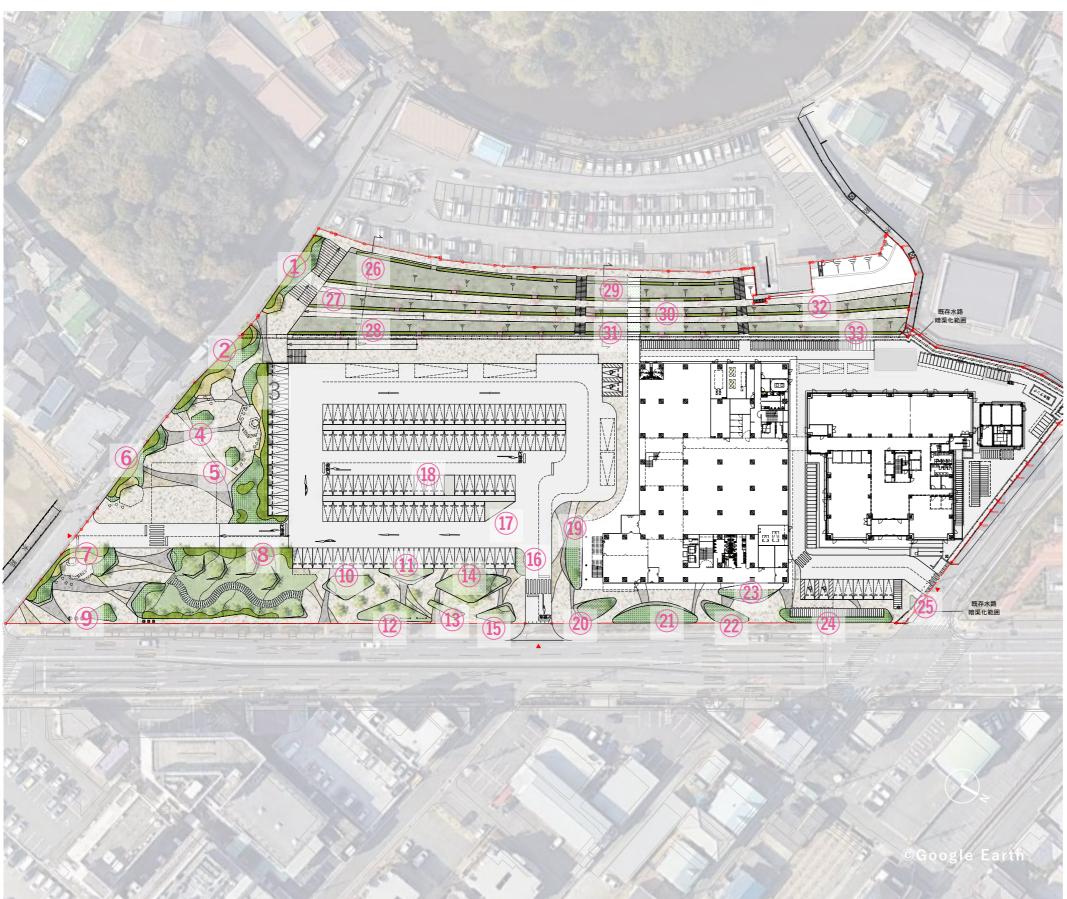
4階 - 通りすがりでも楽しめる明るい色合いの樹種

/ \ / / / / /	世の共用品に囲じ	こているの	りで、歩る	さなからて	ごも栄しめ T	る明るいと	ら合いとしています。 	1
種類	樹種名		規格	101/		量	備考	
		H(m)	C(m)	W(m)	数量	単位 IF		
灌木類	灌木類寄せ植え	0.3-0.5	_	_	31.0	m²	8株/㎡ クチナシ、ビブルナムティヌス、斑入りアセビ、アメリカシモツケディ アボロ、シモツケ、アジサイ、ヒペリカムカリシナム など	
地被類	地被類寄せ植え	_	стир	-	15.5	m	Φ90-150mm Φ90mm: 49p/m2 Φ150mm: 25p/m 2 西洋イワナンテンレインボー、西洋イワナンテンアキシラス、ワイヤー プランツ、ベニシダ、カレックスオシメンシス、ハツユキカズラ など	
クチナシ	% 6 ~ 7		■ E7	ブルナムティン	×× %4∼	5	■ 斑入りアセビ ※2~4	ッケ・ディアボロ ※ 5 ~ 6 □ シモツケ ※ 5 ~ 7 ※ 6 ~ 10 ◎ 10 ~ 11
西洋イワ	ナンテン・レインボ	- * 4 ~	5 ■西洋	(イワナンテ)	ンアキシラス	% 4 ~ 5	■ ベニシダ	マネンシス ※7~8

隈研吾建築都市設計事務所

6階.R階-四季を彩る花と葉を楽しめる樹種

er ve	樹種名		規格			过量		TO TO THE PARTY OF		The state of the s
種類	樹種名	H(m)	C(m)	W(m)	数量	単位	備考			ALC: THE
				'	6,	RF				Part of March
灌木類	灌木類寄せ植え	0.3-0.6	_	_	26.8	m [*]	8株/㎡ ジンチョウゲ、アセビ、ヒラドツツジ(白・薄ピンク)、ユキヤナギ、ヤマブキ、シモツケゴールドフレーム、コデマリ、クチナシ、マホニフコンヒューサ、センリョウ など	The second of th		
地被類	地被類寄せ植え	_	cmvp	_	13.4	m [*]	Φ90-150mm Φ90mm: 49p/m2 Φ150mm: 25p/m2 アジュガ、斑入りノシラン、ホトトギス、ツワブキ、フウチソウ、タ マシダ、ベニシダ など	■ ヒラドツツジ ※3~4	■ ジンチョウゲ ※ 2~4	□ ヤマブキ % 4
	% 6 ~ 7		7 t E %	3 2 ~ 5		□ ユキヤラ	-ギ ※3~4 ロコデマリ ※6~7	■センリョウ ◎ 12~2	■マホニア・コンフューサ※10~1	



敷地・建築概要	
敷地面積	18155. 55 m ²
建蕨率(上限)	80%
建築面積	4481. 34m²
建築物の床面積の合計	13610. 49m²
屋上面積	3089. 15m²

地上部緑化必要面積(AまたはBの面積のうち小さい方の面積以上の面積)

A. ア、イによって算出される面積のうち<mark>小さい方</mark>の面積 ア. (敷地面積-建築面積)×25% イ. {敷地面積-(敷地面積×建蔽率×0.8) } ×25%

3418. 55m² 1634. 00m² 13610. 49 m²

B. 建築物の床面積の合計

617.83㎡ ←屋上面積×20% 290.33㎡ ←P19 3-1.建築概要【エリア別面積表】植栽部合計より

必要面積 計画面積

建築物上の緑化面積 ※高さ1.1m以上の手すり及び人が階段エレベーター等で行き来できる部分で、空調機器、エレベーター、ヘリポート 等管理に必要な部分を除いた部分の面積

327.50㎡ ←地上部分から振替面積

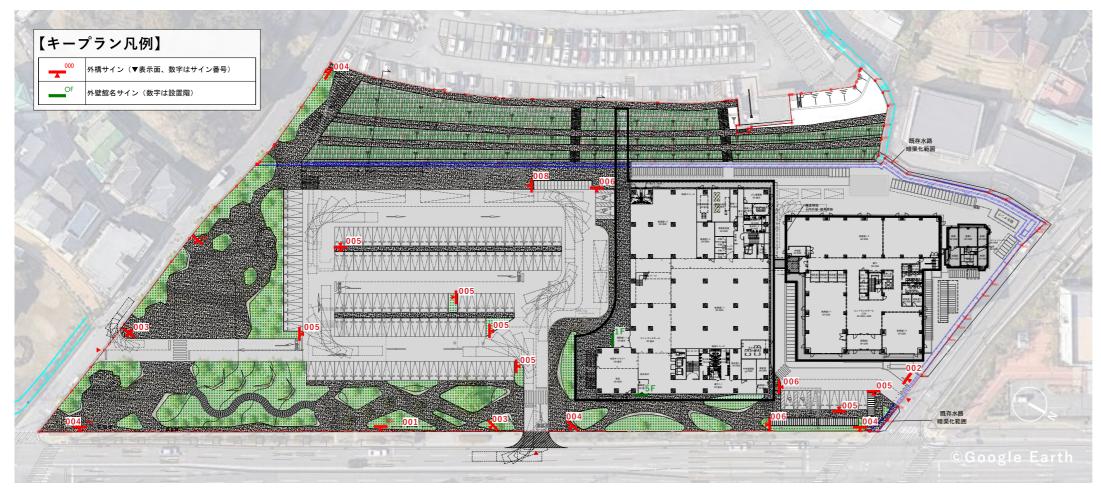
必要面積 1634,00㎡ ≤ 3217. 97m² 必要面積 817.00㎡ ≦ 958. 61 m²

必要面積 617.83㎡ ≦ 617. 83m²

- تاء	上 印水 10 田 領 11	#									
	植栽属性	面積算定様式	地被面積		A	T1:4m以上	T2∶2.5m∼4m	T3∶1m∼2.5m	T4:1m未満	接道3m以内	面積(A)
1	樹木	①-ウ	84. 49 m²	≦	139	4	5	4	1	73. 32m²	121. 15n
2	樹木	ָל-ו	118. 71 m²	≦	233	8	6	7	1	84. 96 m²	161. 19n
3	樹木	ָל-ป	229. 20m²	≦	442	17	8	13	4	0. 00 m²	229. 20n
4	樹木	ָל-ו	18. 47 m²	≦	30	1	0	3	0	0. 00 m²	18. 47 n
5	樹木	ָל-ו	69. 16m²	≦	138	4	5	4	0	59. 19 m î	98. 76n
6	樹木	ָל-ו	12. 90 m²	≦	22	1	0	1	0	0.00m²	12. 90n
7	樹木	ָל-ו	93. 11 m²	≦	228	7	7	8	0	44. 10m²	115. 17m
8	地被	②− ₹	603. 16m²	>	570	24	1	29	12	61. 50 m ²	633. 91 m
9	地被	Q-7	19. 53m²	>	18	1	0	0	0	13. 56m²	26. 30 m
10	樹木	ָל-ו	47. 60m²	≦	52	2	0	4	0	0. 00 m²	47. 60m
11	樹木	①-ウ	28. 70m²	≦	74	1	4	4	0	0. 00 m²	28. 70m
12	樹木	ָל-ו	60. 66 m²	≦	142	3	6	7	0	40. 24 m²	80. 78m
13	樹木	ָל-וּ	14. 53 m²	≦	36	2	0	0	0	5. 74m²	17. 40m
14	地被	Q-7	79. 46m²	>	18	1	0	0	0	0. 00 m²	79. 46m
15	地被	②-ア	26. 12m²	>	26	1	0	2	0	21. 38 m²	36. 81 m
16	地被	Q-7	14. 67 m²	-	-	1	-	-	-	0. 00 m²	14. 67 m
17	地被	Q-7	12. 50m²	-	-	-	-	-	-	0. 00 m²	12. 50m
18	地被	②-ア	18. 75 m²	-	-	-	-	-	-	0. 00m²	18. 75 m
19	樹木	ָל-ו	44. 70 m²	≦	83	2	3	4	1	0. 00m²	44. 70 m
20	樹木	①-ウ	34. 47 m²	≦	36	1	1	2	0	11. 05m²	39. 99 m
21	地被	Q-7	71. 65 m²	>	46	1	2	2	0	57. 47m²	100.38m
22	地被	Q-7	34. 31 m²	>	32	1	1	1	0	24. 52m²	46. 56m
23	地被	②− ア	23. 37 m²	>	11	0	1	0	1	0. 00 m²	23. 37 m
24	樹木	①-ウ	43. 10m²	≦	110	5	2	0	0	41. 78m²	63. 99 m
25	地被	Q-7	3. 61 m²	1	-	1	-	-	-	3. 54m²	5. 37 m
26	地被	Q-7	359. 42 m²	>	64	3	1	0	0	0. 00 m²	359. 42 m
27	地被	Q-7	185. 50m²	>	90	5	0	0	0	0.00m²	185. 50 m
28	地被	Q-7	245. 31 m²	>	102	4	3	0	0	0.00m²	245. 31 m
29	地被	Q-7	193. 03 m²	>	74	3	2	0	0	0. 00 m²	193. 03 m
30	地被	Q-7	74. 43 m²	>	72	4	0	0	0	0.00m²	74. 43 m
31	地被	Q-7	105. 46m²	>	74	3	2	0	0	0. 00 m²	105. 46 m
32	地被	Q-7	116. 60m²	>	36	2	0	0	0	0. 00 m²	116. 60 m
33	地被	Q-7	132. 43m²	>	56	2	2	0	0	0. 00m²	132. 43 m
-	樹木	①- ア - i	55. 20m²	-	-	-	-	-	-	0. 00m²	55. 20 m
		樹木計 地被計 合計	958. 61 m² 2315. 68 m² 3274. 30 m²		•			3	建物緑化不足分	合計 トに一部振替→	3545. 47m 327. 50m

S=(W/2)^2*π 整形面積を樹木面積として算入可 樹高により定めた半径により算出された当該樹木の幹を中心とした水平投影面積

A≦18×T1+10×T2+4×T3+T4 緑化面積=芝その他地被植物で覆われる部分の水平投影面積 ※①-イとして満たさない緑化エリア

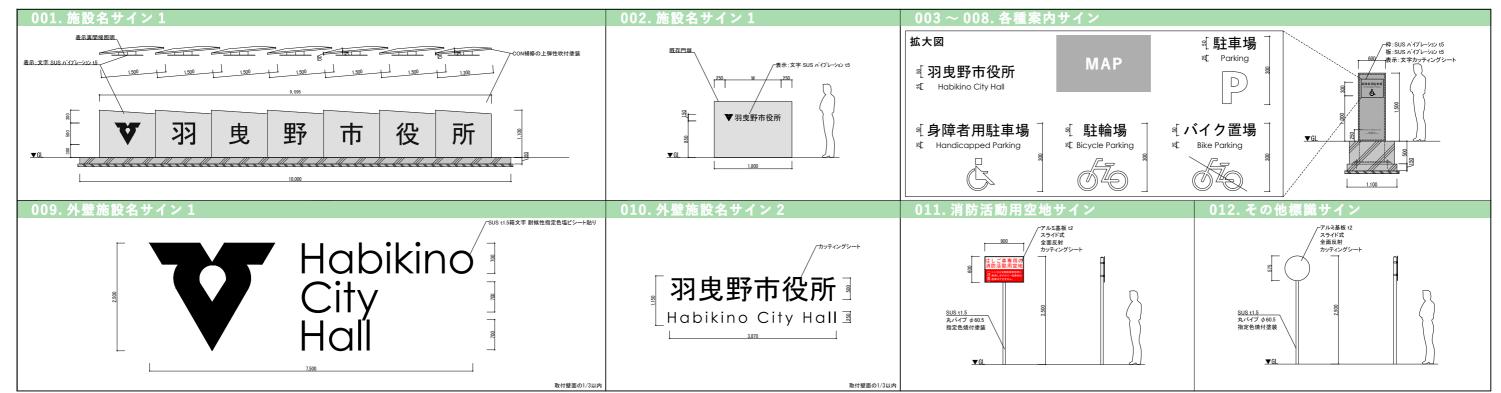


1. 誰もが分かりやすいサインデザイン

- ・庁舎全体のサイン形状・記号・書体・色彩などデザイン を統一し、**来庁者が認知しやすく目的の場所に誘導でき るデザイン**とします。
- ・サインに表記される言語は様々な国の外国人に配慮した 分かりやすい言語対応と共に、**直感的にわかり易いピク** トグラム(絵文字)の併用により国際化に対応した表示 を行います。
- ・色弱者等に配慮し、**色による区分と文字・数字・点字を** 併用し認知しやすいデザインとします。

2. 建物内部サインとの区分

建物内部のサイン計画については原則としてオフィス環境整備「業務」受注者が計画するものとしますが、**建物全体の視認性・デザイン統一**のために DB 事業者及び実施設計監修業務受注者と協議・調整の上、計画します。



24. 昇降機計画 2. 建築計画

1. 災害に備えた安全なエレベーター計画

- ・地震波の初期微動を P 波センサが検出して自動的にかごを最寄階に着床させ休止させる管制機能を採用し、 ・バリアフリー新法、大阪府福祉のまちづくり条例に準拠しエレベータを整備し、だれもが利用しやすい計 地震時の安全を確保できる計画とします。
- ・地震時に管制運転で休止した場合、遠隔操作にて異常の有無を自動配信し安全を確認し、自動復旧させる ことができる仕様とします。
- ・新本館 EV2 は**ストレッチャー対応**のエレベータとします。
- ・別館エレベーターについては既設品流用の上、既存不適格を改修します。

2. 誰でも使いやすく、バリアフリーなエレベーター計画

- 画とします。
- ・かご及び昇降路の出入口のサイズは 80cm 以上、かごの幅 140cm 以上、奥行 135cm 以上とし、**車いすの** 転回に支障がない計画とします。また、鏡と2面手すりをかご内に計画します。
- ・かご内および乗降ロビーに到着階や戸の開閉、昇降方向を音声で知らせる機能や点字やインジケーター等 車椅子利用者や視覚障害者、聴覚障害者の方が利用しやすい計画とします。

		仕様							
項目		項目			Live .				
(4+m/m)A)		新本館EV1×2台	新本班EV2	別館EV(既存不適格改修)			新本館EV1×2台	新本班EV2	別館EV(既存不適格改修)
(金(特殊用途)		乗用(車椅子仕様)	人荷用(車椅子仕様)	乗用(車椅子仕様)	床		タイル貼り, (材料・貼付別途工事)	タイル貼り, (材料・貼付別途工事)	既設品流用:現地床タイル貼替 長尺塩ビシート(ロンリウム)
黄載量(定員)		1000Kg (15名)	1600Kg (24名)	1000Kg (15名)	** 50				
速度		9 0 m / m i n	9 0 m/m i n	60 m/m i n	敷居		硬質アルミ製	硬質アルミ製	既設品流用:現地アルミ磨き
制御方式		交流インバータ制御方式	交流インバータ制御方式	可変電圧可変周波数制御方式	インジケーター		操作盤組込	操作盤組込	操作盤組込
操作方式		2 台群乗合全自動方式	乗合全自動方式	乗合全自動方式		ボタン	クリックタッチボタン	クリックタッチボタン	ステンレスクリックボタン(凸文字)・黄橙色LED
停止箇所(階)・出ク	、口方向(階)	6ヶ所停止 (1~6階)・1方向	5ヶ所停止 (1~5階)・1方向	4ヶ所停止 (1~4階)・1方向		インジケーター	液晶 (8. 4インチ)	液晶 (8. 4インチ)	液晶1画面
昇降行程(全高)・昇	降路構造	2 2 4 0 0 mm (2 6 9 5 0 mm) ・鉄筋コンクリート構造 (R C 造)	16300mm (21250mm) ・鉄筋コンクリート構造 (RC 造)	12400mm(18400mm)・鉄筋コンクリート構造(RC 造)	かま操作盤	フェースプレート	標準(広角ミラー付)ステンレス製パイプレーション	標準(広角ミラー付)ステンレス製バイブレーション	ステンレス製へアライン
かご内法(W x D x F)	1 4 0 0 m m X 1 3 5 0 m m X 2 2 5 0 m m	2 0 0 0 mmX1 7 5 0 mmX2 3 0 0 mm	1 6 0 0 mmX 1 5 0 0 mmX 2 3 5 0 mm	→ 工味IF班		非接触リーダー設置(機器支給品・建築工事)	非接触リーダー設置(機器支給品・建築工事)	インターホン呼び出しボタン応答灯 (聴覚障がい者対応仕様)
出入口寸法(WxH)		80 0 mmX 2 1 0 0 mm	1 1 0 0 mmX2 1 0 0 mm	9 0 0 m m X 2 1 0 0 m m	4	付加仕様	非常呼ボタンガード(ステンレス製、スイング式)	非常呼ボタンガード(ステンレス製,スイング式)	インターホン乱用防止カバー(プラスチック)
ドア方式		電動式・2枚戸中央開き	電動式・2枚戸中央開き	電動式・2枚戸中央開き	11	1月加1工休	非常呼ボタン応答灯	非常呼ボタン応答灯	
電動機容量		A C - 8. 7 k W	A C - 1 4 k W	A C - 6. 4 k W	18			戸開延長ボタン付	
	動力	三相200V 60Hz	三相 2 0 0 V 6 0 H z	三相210V 60Hz			機械式 (片側)	機械式(片側)	機械式 (片側)
電源	照明	単相100V 60Hz	単相100V 60Hz	単相100V 60Hz		ドア安全装置	2 D多光軸(マルチピーム)	2 D 多光軸(マルチピーム)	2 D多光軸(マルチビーム)
	地震時	有 全自動形 (3段設定)	有 全自動形 (3段設定)	有 全自動形 (P波・S波センサー3段設定)		防犯カメラ	標準カメラ(映像信号渡し)	標準カメラ(映像信号渡し)	なし
				地震対応機能付(リスタート運転、かご内画面表示・音声案内)※	かご室付加仕様	その他オプション	B G M スピーカー	B G M スピーカー	B G M スピーカー
	地震対応機能	能)	能)	自動復旧運転:保守契約による	10 CILI3001III	(4)18-17717	Bulline 3	Bulling 17	B d W / C //
	長周期地震対策	長周期地震対策付	長周期地震対策付	年 年 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		保護マット	磁石式保護マット(分割形),標準色(高さ1800mm)	磁石式保護マット(分割形),標準色(高さ1800mm)	なし
管制運転				無 たかは 帰 成 たの ロ (金 3 本 9 で)		d=1	プリー・・ 1 一年生年	マノー・・ 一	4-1
	地震感知器	P·S波地震感知器(普通級)	P·S波地震感知器(普通級)	P·S波地震感知器 (普通級)		床マット	ゴムマット,標準色	ゴムマット、標準色	なし
	火災時	有 全自動形	有 全自動形	有 既設監視盤(キースイッチ:自動-切-手動)	音声案内装置			方向・戸閉・階床・管制運転案内、アナウンスON − OF Fスイ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	^ツ 方向・戸閉・階床・管制運転案内, 日本語
	自家発時	#	#	#			チ付、日本語・英語	チ付,日本語・英語	
	浸水時/冠水時	有 全自動形 (ピット冠水時 (指定階))	有 全自動形(ピット冠水時(指定階))	無	専用乗場ボタン	ボタン	クリックタッチボタン	クリックタッチボタン	ステンレスクリックボタン(凸文字)・黄橙色 L E D
停電時自動着床装置		有 (トスランダー)	有 (トスランダー)	有 (MELD)		フェイスプレート	他用品組込	他用品組込	ステンレスへアライン仕上
耐震クラス(新安全基		A 1 4 (新安全基準対応 (戸開走行保護装置付))	A 1 4 (新安全基準対応(戸開走行保護装置付))	A 1 4 (新安全基準対応(戸開走行保護装置付))		ボタン	クリックタッチボタン	クリックタッチボタン	ステンレスクリックボタン(凸文字)・黄橙色 L E D
かご内連絡装置(個数	t)	2 4 V 同時通話式インターホン、多局用親機1台	2 4 V同時通話式インターホン単局用親機1台	2 4 V選局式インターホン1台 (既設監視盤)	かご内横型主操作盤	インジケーター	角窓ドットデジタル	角窓ドットデジタル	L E D ドット表示
		ローラーガイド (かご、おもり)	ローラーガイド (かご、おもり)	スライディングガイドシュー (かご、おもり)	福	フェースプレート	標準ステンレス製バイブレーション	標準ステンレス製バイブレーション	ステンレスへアライン仕上
		照明自動休止・換気装置継続運転機能	照明・換気装置自動休止機能	照明・換気装置自動休止機能	祉	ボタン	クリックタッチボタン	クリックタッチボタン	ステンレスクリックボタン(凸文字)・黄橙色LED
		いたずら呼びキャンセル機能	反転時呼び一括キャンセル機能	反転時かご呼び一括キャンセル機能	仕 かご内横型副操作盤 様	【 インジケーター	角窓ドットデジタル	角窓ドットデジタル	なし
		反転時呼び一括キャンセル機能	戸開放自動設定	行先階取消機能		フェースプレート	標準ステンレス製パイプレーション	標準ステンレス製パイプレーション	ステンレスへアライン仕上
		戸開放自動設定	行先階取消し機能	強制戸閉動作					
基本仕様及び標準装備	仕様	行先階取消し機能	気配りアナウンス機能(非常時4ヵ国語対応)	音声合成アナウンス	かご内鏡		フルハイトミラー(W500, ステンレス製鏡面)	フルハイトミラー (W500, ステンレス製鏡面)	合わせガラスアルミ枠付 (5 7 0 mmX1, 4 0 0 mm)
		気配りアナウンス機能(非常時4ヵ国語対応)	ランニングクリアランス 1 0 mm	故障時最寄階低速自動着床運転			ステンレス制円形プラケット手塚(638 パイプレーション(2	2 ステンレス製円形プラケット手摺 (Φ38、パイプレーション (2	, †
		故障時最寄階自動着床運転	故障時最寄階自動着床運転	ドアロードディテクタ	かご手摺(側面)		B) 仕上) , 2方向	B) 仕上), 2方向	既設品流用
		しきい間すきまレス	MITTO AL III II AND PINETA	ネクストランディング	戸開放時間		標準時間(10秒)	標準時間(10秒)	標準時間(10秒)
		広角ミラー付操作盤		4-2 × 1 2 2 2 4 2 2	用品オプション				
		(A) スプーリ珠正面			特定客先仕様		非常呼ボタンガード(ステンレス製スイング式)	非常呼ボタンガード(ステンレス製スイング式)	インターホン乱用防止カバー(プラスチック)
							国土交通省	国土交通省	公共建築工事標準仕様書 令和4年版
三方枠		ファットバー (大枠タイプ 5 0 0 m m以下) ステンレス製ヘアライン, 上乗せ接合	フラットバー (大枠タイプ500mm以下) ステンレス製へアライン, 上乗せ接合	縦枠:既設品流用(現地ステンレス磨き) 幕板:既設品流用(現地化粧シート貼付)	銘板		点字銘板 (ステンレス製貼付)	点字銘板(ステンレス製貼付)	点字銘板(ブラスチック製貼付、SUS調シルバー)
	ドアパネル	鋼板塗装 5分ツヤ (C級)	銅板塗装 5分ツヤ (C級)	銅板化粧シート貼 (一般) 、目地付き	警報回路		インターホン呼びボタン、ブザーDC24V、かご上、インター:	t インターホン呼びボタン, ブザーDC24V, かご上, インター	ホ インターホン呼びボタン, かご内アナウンス, 監視盤異常灯点
ドア	適煙	連煙機能付 (スモークブルーフ)			吉報出始		ンと警報器リセットの連動、タイマー付、各階停止運転付	ンと警報器リセットの連動、タイマー付、各階停止運転付	よびブザー鳴動,各階強制停止運転
数居	延 度	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	遮煙機能付 (スモークブルーフ)	這煙機能付(ディフェンスドア(既設品流用:三方枠・敷居))					A STATE OF THE STA
以店		硬質アルミ製	硬質アルミ製	既設品流用(現地磨き)	ペーキング機能		パーキング機能(SW2点)	パーキング機能(SW2点)	有 既設監視盤(遠隔休止SW:運転-休止)
	ボタン	クリックタッチボタン	クリックタッチボタン	ステンレスクリックボタン(凸文字)・黄橙色LED	0 ノイズフィルター・		高調波対策付	高調波対策付	高調波対策付(回生なし)
インジケーターボタン	インジケーター	液晶	液晶	幕板組込ドットLED	他ホームランディング	î .	ホームランディング階: 1, 切替スイッチ有		なし
	フェースプレート	平板(板バネ)ステンレス製ヘアライン、専用ボタン一体	平板(板バネ)ステンレス製ヘアライン, 専用ポタン一体	インジケーター分離式 (乗場ボタン単独) ステンレス製へアライン,専用ボタン一体	付 加 暗証式かご呼び登録	Ř	縦形 主(副)操作盤組込、2個用スイッチボックス:縦向き	縦形 主(副)操作盤組込、2個用スイッチボックス:縦向き	なし
	照明	プレミアム (PRM-11), 化粧鋼板, LED調色 (昼光色-電 球色 タイマー付)	ガラスクロス照明、鋼板塗装、LED昼光色	L E D フラット天井: C L 1 M (白色)	仕		客先支給品による制限解除(際床別解除,解除時間は5秒),乗	易 客先支給品による制限解除(階床別解除、解除時間は5秒), 乗	場
井照明		球色、タイマー付)			簡易暗証式呼び登録	Ř	登録方法なし、オーナー宅解除手段なし	登録方法なし、オーナー宅解除手段なし	なし
	停電灯	有	有	有					
!気装置		ファン・イオン発生機付	ファン	ファン	フェッシャープレ-	- ト	ボンデ鋼板 (亜鉛メッキ)	ボンデ鋼板 (亜鉛メッキ)	なし
ターンパネル		ステンレス製バイブレーション	ステンレス製パイプレーション		特記		かご内非接触リーダー設置(支給品・建築工事)	かご内非接触リーダー設置(支給品・建築工事)	乗場ドア遮煙対応
入口柱		ステンレス製バイブレーション	ステンレス製パイプレーション	ステンレス製へアライン			乗場ドア連煙対応	乗場ドア遮煙対応	
ア	ドアパネル	鋼板化粧シート貼(t1.6)(一般)	鋼板化粧シート貼 (t 1. 6) (一般)	化粧シート貼					
板	,	鋼板化粧シート貼 (一般)	銅板化粧シート貼 (一般)	ステンレス製へアライン	溶接レス工法		溶接レス工法(昇降路用品、のりば用品)		溶接レス工法
l板	側板パネル	鋼板化粧シート貼 (一般)	鋼板化粧シート貼 (一般)	既設品流用:現地化粧シート貼	丁事用機材・材料抗	定	エコケーブル指定	エコケーブル指定	既存線流用(電源線、監視盤信号線)
		ステンレス製パイプレーション	ステンレス製パイプレーション	既設品流用:現地ステンレス板貼付	带				The state of the s

25. 工事区分表 2. 建築計画

1. テナント工事区分表(案)

工事種別については下記の通りとします。

また、実施設計段階において、貸付区画ごとに工事区分表や貸方基準を精査することを想定します。

・A工事:羽曳野市の費用負担で行う工事。

・B工事:入居者の設計に基づき、入居者の費用負担で DB 事業者が施工する工事。

·C工事: 入居者の設計に基づき、入居者の費用負担で入居者指定業者が施工する工事。

			入居者負担		
	工事内容	A工事	B工事	C工事	備考
	外部サッシ/外部建具	全工事	店舗計画による変更追加工事	なし	
	床	内部仕上表の記載範囲まで	なし	店舗計画によるA工事以降の全工事	
7dr	壁/柱型	内部仕上表の記載範囲まで	なし	店舗計画によるA工事以降の全工事	
築	天井	内部仕上表の記載範囲まで	なし	店舗計画によるA工事以降の全工事	
事	内部建具	全工事	店舗計画による変更追加工事	なし	
	点検口	A工事計画による必要分を設置	なし	店舗計画によるA工事以降の全工事	
	内部造作 (家具/什器/備品)	なし	なし	店舗計画による全工事	
	幹線設備(電灯/動力)	電灯動力盤設置及び電灯動力盤までの幹線	テナント計画による幹線サイズUP(容量増) 盤内回路の変更及び増設	なし	
	電灯/コンセント設備	なし	なし	テナント計画による電灯、コンセントの増設	
電	動力設備	なし	なし	テナント計画による盤から動力負荷までの配管配線	
設	テレビ共聴設備	なし	テナント計画によるテレビ端子増設	なし	
工	構內交換設備 (電話設備)	なし	テナント計画によるテレビ端子増設	なし	
事	情報通信網設備	なし	テナント計画によるLAN端子増設	テナント計画による無線LAN等の機器及び配管配線の 敷設	
	BGM設備	なし	なし	BGM設備設置	
	防犯設備	なし	なし	防犯設備設置	
	自動火災報知設備	法に準拠し設置	テナント計画による感知器増設	なし	
	消火設備	屋内消火栓で防護	テナント計画による屋内消火栓増設	なし	
防災	非常放送設備	法に準拠し設置	テナント計画によるスピーカー増設	なし	
設備	非常照明・誘導灯設備	法に準拠し設置	テナント計画による非常照明設備及び誘導灯増設	なし	
工	排煙設備	なし	なし	なし	排煙設備はあくまで建築基準法による。消防法 の排煙はなし。
	ダクト消火設備	なし	排気ファン連動停止信号およびダクト消火設備作動新 号の配線と設定工事	テナント計画による設置工事	
	消火器	法に準拠し設置	なし	テナント計画による消火器増設	
空調設	空調設備	室外機設置位置および冷媒管ルートの確保 ダクト・配管に伴うコア抜き工事	なし	テナント計画による ・店舗内ダクトおよび配管工事 ・空調設備工事(室外機・室内機・配管・ダクト類)	
備工事	換気設備	法定換気量分の機械換気設備 (排気ファン) ダクトに伴うコア抜き工事	なし	・換気設備工事(換気機器・配管・ダクト類) ・消臭装置の設置(必要に応じて) ・プレハプ冷蔵庫の設置(必要に応じて)	
衛生設	給水設備	上水:室内天井でバルブ止め 雑用水:なし 量水器 (私設メーター) まで 使用水量のデータ取込設定	なし(床下スラブ上で対応)	テナント計画によるテナント内配管工事	
備工事	排水設備	雑排水:床上フラグ止め	なし(床下スラブ上で対応)	テナント計画によるテナント内配管、衛生器具及びグ リストップ設置工事	グリストップは店舗内床上設置とする。 店舗内配管は床上または天井配管とする。
	ガス機器	なし	なし	なし	
サイン	看板類・店名表示	なし	なし	店舗計画による全工事	
		I	I	l .	

1. 基本方針・耐震性能目標 -1

1. 構造計画方針

市役所として求められる機能性、安全性を満足する空間の実現、及び大地震後の市庁舎としての機能維持を目標に、経済性、耐久性、施工性に配慮した設計とします。

2. 構造概要

<新本館>

規模 : 地上 6 階

構造種別 :鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、大スパン部にプレストレス梁を適用

架構形式 : 桁行方向、張間方向とも純ラーメン構造

基礎形式 :直接基礎(べた基礎)、支持層以浅に地盤改良(柱状改良)を適用

計画共用期間:標準(およそ65年)

<ブリッジ>

規模 : 地上 1 階 **構造種別** : 鉄骨造

架構形式 : 桁行方向、張間方向とも純ラーメン構造

基礎形式 : 直接基礎(布基礎)、支持層以浅に地盤改良(柱状改良)を適用

計画共用期間:標準(およそ65年)

3. 耐震安全性の目標

地震時における耐震安全性は、**|類に相当する耐震性を確保**します。

表 官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説における耐震安全性の目標

カの種類 荷重および外力 状態		耐震安全性の目標
	I類	大地震動後、構造体の補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全 確保に加えて十分な機能確保が図られている。
構造体	Ⅱ類	大地震動後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命 の安全確保に加えて機能確保が図られている。
	III類	大地震動により構造体の部分的な損傷は生じるが、建築物全体の耐力の低下は著しくないことを目標とし、人命の安全確保が図られている。

部位 分類		耐震安全性の目標
建築非構造	A 類の外部 及び特定室	大地震動後、災害応急対策活動等を円滑に行ううえ、又は危険物の管理のうえで支障となる 建築非構造部材の損傷、移動等が発生しないことを目標とし、人命の安全性確保と二次災害 の防止に加えて十分な機能確保が図られている。
部材		大地震動により建築非構造部材の損傷、移動等が発生する場合でも、人命の安全確保と二次 災害の防止が図られている。

4. 耐震性能の目標

<新本館>

耐震設計ルート:鉄筋コンクリート造ルート3

耐震安全性の目標:Ⅰ類

<ブリッジ>

耐震設計ルート:鉄骨造ルート1-1

※実施設計における調整でスパンが 6m を超える場合は、ルート 1-2 またはルート 3 での設計となります。

<新本館・ブリッジ共通>

考慮する荷重の組み合わせ

力の種類	荷重および外力の状態	荷重と外力の組合せ
長期に生ずる力	常時	固定荷重(G)+積載荷重(P)
	積雪時	固定荷重(G)+積載荷重(P)+積雪荷重(S)
短期に生ずる力	暴風時	固定荷重(G)+積載荷重(P)+風圧力(W)
	地震時	固定荷重(G)+積載荷重(P)+地震力(K)

- ・常時荷重時に、構造耐力上主要な部分に生じる応力が長期許容応力度以下であることを確認します。
- ・建築基準法施行令第82条第四号および平12建告第1459号に基づき、建築物の使用上の支障が起こらないことを確認します。
- ・一次設計

上表に示す**短期**に生ずる力に対し、構造耐力上主要な部分に生じる応力が**短期許容応力度以下**であることを確認します。

3. 構造計画

1. 基本方針・耐震性能目標 -2 3. 構造計画

<新本館>

・二次設計

新本館は鉄筋コンクリート造純ラーメン構造で計画しているため、Ds=0.30 を目指し、**靭性能、変形性能に富んだ構造として計画**します。また、耐震安全性の分類 = 1 類より、**保有水平耐力の余裕度 1.5 を確保**します。

 $Qun = I \cdot Ds \cdot Fes \cdot Qud$

Qud=Z · Rt · Ai · C0 · Σ Wi

· Qun: 必要保有水平耐力

·I:重要度係数(=1.5)

·Ds:構造特性係数

·Fes:形状係数

・Qud:地震力によって各階に生ずる水平力

·C0:標準せん断力係数(=1.0)

※その他記号は後述の地震力を参照

・大地震動時の変形制限の検討(官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説)

基本設計では建築構造設計基準及び同解説(官庁営繕部監修)を参考に、建築基準法施行令第82条の2に規定する層間変形角より推定する方法として検討した結果、**応答推定値として1/160~1/250程度**が得られています。基本設計段階では、制限値1/200を超える変形に対しては、建築非構造部材及び建築設備に支障が生じないよう耐震設計を行うこととしています。

表大地震動時の層間変形角の制限値

構造種別	層間変形角の制限値	
鉄筋コンクリート造	1/200	
鉄骨鉄筋コンクリート造	1/200	
鉄骨造	1/200	

・実施設計における大地震動時の変形制限の対応

実施設計では変形制限に対し、以下の通り対応します。

- ・層間変形角の制限値 1/200 以下を満足させる場合と基本設計結果を参考に適切な目標制限値を設定した場合との比較検討の上、合理的な耐震安全性の判断を行い、経済性に配慮した設計を行います。
- ・上記検討による層間変形角の目標制限値に対し、**建築非構造部材及び建築設備について支障がない**ことを確認します。

2. 地盤概要·基礎計画概要

1. 敷地概要

本敷地での主な地層構成は、地盤調査により以下のように出現する想定です。

- ·深度 1.0 ~ 5.0m 程度:盛土(N 値 7 程度)
- ·深度 3.5 ~ 5.5m 程度:砂礫層、砂層(N 值 30 程度以上)
- ・以深は粘性土を挟みながら、砂および砂礫層の薄い互層状態が続き、深度 15 ~ 17m 程度で N 値 50 以上 の砂および砂礫層が出現。

また、無水掘りによる自然水位として深度 1 2m で観測されています。

2. 支持地盤の設定

・長期許容地耐力の設定

構造種別、建物規模、基礎形式から支持地盤を以下の通り設定します。

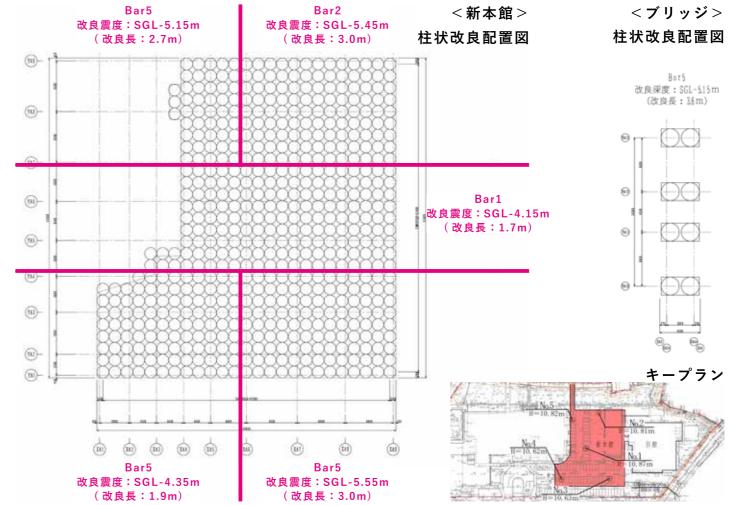
<新本館> 鉄筋コンクリート造6階建てべた基礎250~300 kN/m2

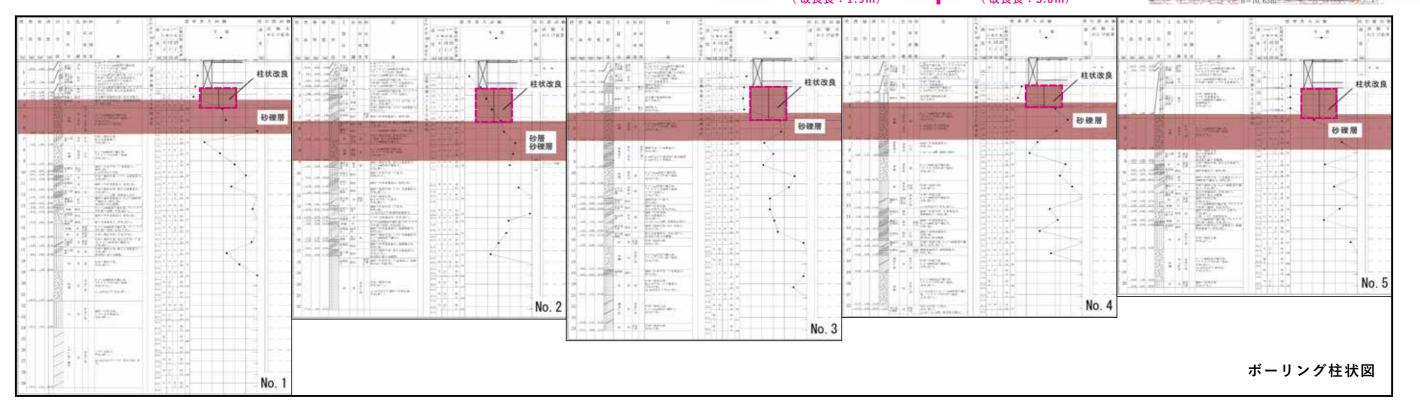
<ブリッジ> 鉄骨造 1 階建て 布基礎 75 ~ 100 kN/m2

・支持地盤の選定

上記の必要地耐力を考慮し、N値が30程度であることが確認されている、深度3.5~5.5m程度に出現す る砂礫層、砂層を支持地盤とします。

新本館の基礎床付けレベルは GL-2.5m、ブリッジの基礎床付けレベルは GL-1.5m を想定しており、基礎床 付けレベルは表層の盛土層に位置するため、地盤改良(柱状改良)を行い、支持層に接地させます。





3. 構造計画

3. 使用材料・設計荷重 3. 構造計画

1. 使用材料

<新本館>

・コンクリート (JIS A5308 及び大臣認定コンクリート)

普通コンクリート

設計基準強度:30 N/mm2 (6 階立上り~ R 階床)、36 N/mm2 (5 階立上り~ 6 階床)

・大臣認定コンクリート

設計基準強度:39 N/mm2 (3 階立上り~5 階床)、42 N/mm2 (2 階立上り~3 階床)、

45 N/mm2 (基礎~2 階床)

※大臣認定コンクリートは指定した設計基準強度を満足するJISコンクリートへの置換を可とします。

・鉄筋(JIS G3112 及び大臣認定品)

SD295 (D10~D16)、SD345(D19~D25)、SD390(D29~D35)、SD490(D38以上)

高強度せん断補強筋 785N/mm2 級 (呼び径 13mm、大臣認定品)

※梁貫通孔補強には日本建築センター等の評定取得品を用いることができます。

・鉄骨

SN400B (大梁)、SS400 (小梁、H 形鋼柱)、BCR295 (角型鋼管柱)、STKN400B (鋼管柱

・その他材料

プレストレス梁: PC 鋼より線(JIS G3536) φ 15.2(SWPR7BL)

<ブリッジ>

・コンクリート (JIS A5308)

普通コンクリート

設計基準強度:24 N/mm2(基礎)

· 鉄筋 (JIS G3112)

SD295 (D10~D16)、SD345(D19~D25)

・鉄骨

SN400B (大梁)、SS400 (小梁、H 形鋼柱)、BCR295 (角型鋼管柱)

2. 設計荷重

· 固定荷重、積載荷重

固定荷重は、建築基準法施行令第84条に準じて実況に応じて計算します。

積載荷重は、同第85条の表、建築構造設計基準及び参考資料第4章荷重及び外力、その他実況に応じて 計算します。主な積載荷重を次表に示します。

主な積載荷重 [N/m2]

室名	床・小梁用	架構用	地震用
事務室(執務室・会議室関係)	2900	1800	800
居室(更衣室、便所等)	1800	1300	600
集会室 (エントランスホール、テラス等)	3500	3200	2100
一般書庫、倉庫等(図書室、倉庫関係等)	7800	6900	4900
非歩行屋根(庇等)	980	600	400
百貨店又は店舗の売場(コンビニ、カフェ)	2900	2400	1300

・積雪荷重

積雪荷重は、建築基準法施行令第86条及び平12建告第1455号に基づき設定します。

垂直積雪量 d は、羽曳野市建築基準法施行細則に定められている数値(0.29 メートル以上)から設定します。

積雪荷重
$$S = d \cdot \rho \cdot A$$

- ・垂直積雪量 d=30cm ・積雪の単位荷重 $\rho=20$ N / m $^{\prime}$ /cm
- 風圧力

風圧力は建築基準法施行令第87条及び平12建告第1454号に基づき設定します。官庁施設の基本的性能基準の構造体の耐風に関する性能における分類 I を目標とし、上記令第87条に規定される風圧力の1.3倍を考慮します。

風圧力
$$W = \alpha \cdot Cf \cdot q$$

・Cf:風力係数 ・q:速度圧 N/m2 ・ α :割増係数(= 1.3)

速度圧 q = 0.6・E・Vo 2

- · Vo=34m/s · 地表面粗度区分: Ⅲ
- ・地震力

地震力は建築基準法施行令第88条及び平12建告第1793号に基づき設定します。

地震力
$$K = Ci \cdot \Sigma Wi$$

・Ci:i 階の地震層せん断力係数 ・ Σ Wi:i 階より上の部分の建物重量(地震重量) Ci = Z・Rt・Ai・Co

- ・Z:地域係数(1.0) ・Rt:振動特性係数 ・Ai:地震層せん断力の分布係数
- ・C0:標準せん断力係数(新本館 = 0.2、ブリッジ = 0.3) 地下水平震度 k = 0.10(新本館、ブリッジ共通)

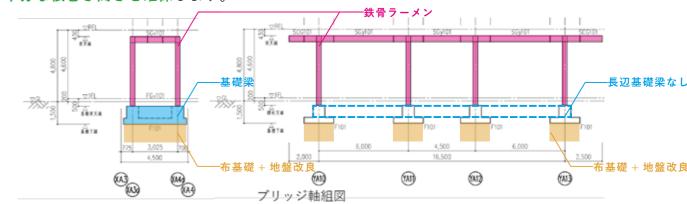
4. 架構計画 3. 構造計画

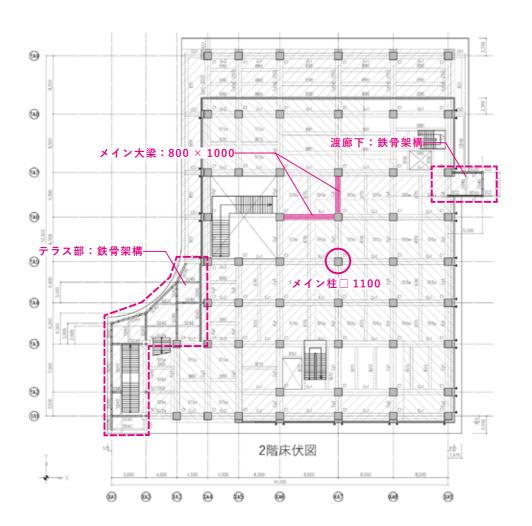
1. 架構計画 < 新本館 >

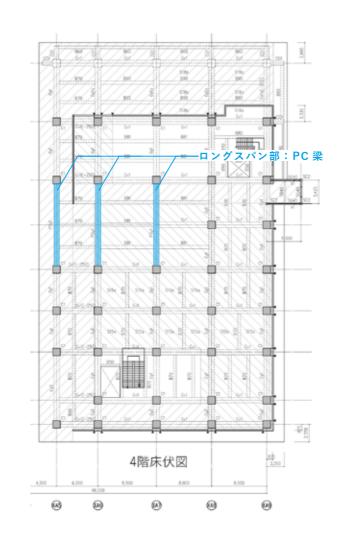
- ・主架構は**鉄筋コンクリート造純ラーメン構造**とします。
- ・フレーム内に配置される鉄筋コンクリート造雑壁には柱際、梁際に**耐震スリット**を設け、**脆性的な破壊を 抑制する計画**とします。
- ・テラス部は鉄骨造を採用することで部材断面サイズを抑え、軽やかな架構とします。
- ・別館との渡り廊下は**鉄骨造**とし、ブレースによる鉛直支持を期待することで、**基礎を削減**するとともに、 地中埋設配管等との干渉を避ける計画とします。
- ・スパン 13 mとなる大スパン部には、プレストレス梁を採用し、梁のひび割れ制御および梁せいを抑制する 計画とします。
- ・屋上の古墳の丘テラスの鉛直支持部材のうち、階高が低く短柱となる箇所は応力が集中し、せん断破壊の 脆性的な破壊性状となる懸念があるため、**すべり材を設け、地震力を逃がす計画**とします。

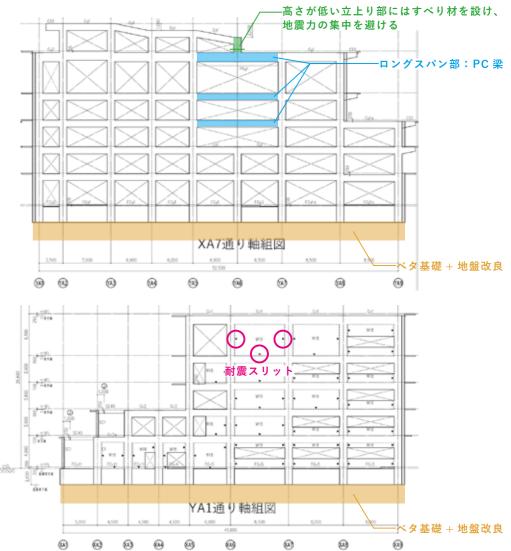
2. 架構計画 < ブリッジ >

- ・主架構は鉄骨造純ラーメン構造とし、桁下部の動線に配慮します。
- ・基礎梁は長辺方向には設けず、施工短辺方向のみとし、**経済性に配慮した計画**とします。長辺方向の地震力による柱の柱脚曲げ応力は基礎に負担させ、**接地圧の設計に考慮**するとともに、**柱脚の剛性を確保**するため、十分な根巻き高さを確保します。









5. 別館改修計画 3. 構造計画

1. 別館改修方針

新本館と新設の渡り廊下を介しての接続を計画するため、別館側で一部既存の耐力壁を撤去します。耐力壁の撤去によって失われた耐力分を如何に考えるかは、実施設計時の判断に依るが、ここでは**同フレームに相当の壁長の袖壁を計画**することにより、**冗長性を持たせる案**とします。他に、本体建物が十分に保有水平耐力を有していることから、撤去後に特段の補強を行わないという判断もあり得ます。また、そこは元々エレベーターがあった箇所であるので、スラブの新設も行うが、これが構造性能に影響を与えることはないとし、これに係る補強は考えないものとします。

2. 構造概要

<別館>

規模 : 地上 5 階

構造種別:鉄骨鉄筋コンクリート造

架構形式:桁行方向、張間方向とも耐震壁付きラーメン構造

3. 使用材料

<別館>

・コンクリート (JIS A5308)

普通コンクリート

設計基準強度:21 N/mm2(全箇所)

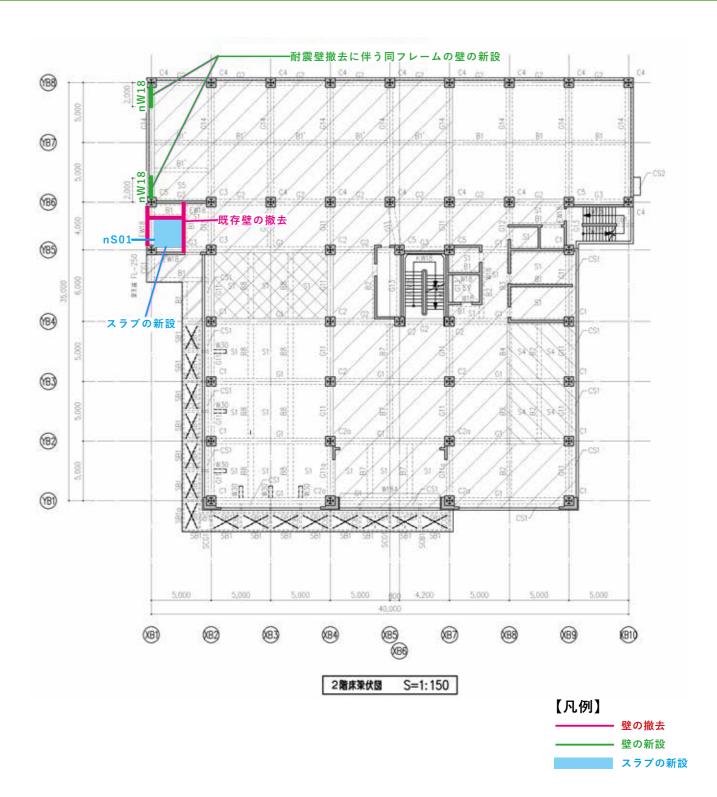
· 鉄筋 (JIS G3112)

SD295 (D10~D13)

4. 架構計画

<別館>

- ・特記仕様書・標準図等は必ず準拠を求めるものではなく、実施設計者の構造設計方針とその判断に依ります。
- ・既存耐力壁の撤去による耐力損失分の扱いは、実施設計者の判断に依ります。ここでは、**冗長性を持たせた一案として同フレームに袖壁を計画**しています。
- ・新設のスラブや壁は図面記載の仕様としますが、**最終的には実施設計者の判断**に依ります。
- ・新設スラブ廻りの雑壁の撤去に伴う層重量の減少は僅かであり、構造性能には影響ないと判断します。
- ・スラブの新設に伴う層重量の増大は僅かであり、範囲も狭隘なため周辺部材への影響も含め、**構造性能に**は影響ないと判断します。



1. 基本方針

本計画を設計するにあたり、「経済性」、「安全性」、「信頼性」、「社会性」、「先進性」、「保守管理性」、「環境 **への配慮**」に配慮します。

1. 経済性

- ・性能効率の高い機種を選定し、省エネ運転を行うシステムの構成により、運転費の低減を図ります。
- ・主要機器や EPS を適切な場所に配置し、建設費の低減を図ります。

2. 安全性

- ・中央監視室を中心とした「羽曳野市地域防災計画」に基づく防災システムを構築します。
- ・耐震性能に配慮して主要機器を据え付けます。
- ・セキュリティレベルに整合したアクセスコントロールが可能な計画とします。

3. 信頼性

·災害時の災害対策本部としての機能を満たす計画とします。

4. 社会性

・身体障害者の利用を踏まえバリアフリーに配慮した安全な設備システムを構築します。

5. 先進性

・データ社会において必要とされる高速大容量通信環境を整備します。

6. 保守管理性

- ·機器の長寿命化に配慮した材質や部品を用いた機器を採用します。
- ・操作や**保守が容易な設備機器**を採用します。

7. 環境への配慮

- ・地球温暖化防止や資源の有効利用等、環境へ配慮した計画とします。
- ・地球規模の環境問題に配慮した CO2 の発生が少ない機種や廃棄焼却時に CO2 の排出が少ない材料の選択・ 選定に配慮します。

2. 高圧引込設備計画

1. 高圧引込設備概要

敷地南西側及び北側より**地中**にて普通高圧 6.6 k V 本線予備線にて引き込みます。敷地内に電力会社支給の 高圧キャビネットを設置し、電力会社との責任分界点とします。高圧キャビネットから地中埋設管路にて建 物ピットへ引き込み、電気設備専用のパイプスペース(EPS)を経由して、屋上に設置の受変電設備まで 高圧ケーブルを敷設します。

2. 高圧引込仕様

引込電圧	普通高圧 3相3線6, 600V 60Hz
受電方式	本線・予備電源線2回線受電方式
引込方式 地中引込方式	

3. 受変電設備計画

1. 受変電設備概要

受変電設備は浸水により機能を消失することなく、災害停電時にも機能を維持することに配慮し、4階テラ スに設置します。電力会社から6.600Vで受電した電力を、建物で使用する電圧である三相210V、及 び単相210V/105Vに降圧します。機器構成は、信頼性、メンテナンス性、省エネルギーを考慮します。 別館の既存受変電設備は、サブ受変電設備とし新設キュービクルより電源供給を行います。

2. 機器什樣

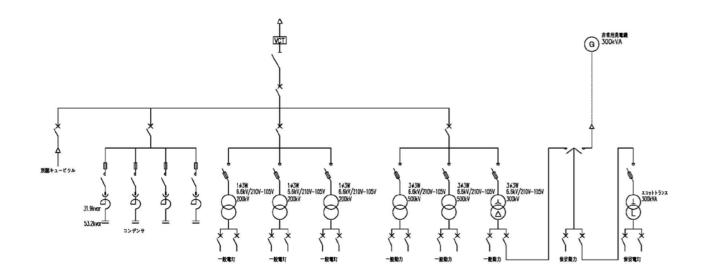
形式	式 屋外キュービクル式	
主遮断機 真空遮断器(VCB)		
変圧器 トップランナー油入変圧器(防振架台設置)		
高圧コンデンサ ガス絶縁 自動力率調整方式		
直列リアクトル	モールド	

基本設計図書

3. 変圧器構成

電灯変圧器	単相 3 線 6. 6 k V / 2 1 0 - 1 0 5 V 2 0 0 k V A × 3
動力変圧器	三相 3 線 6. 6 k V / 2 1 0 V 5 0 0 k V A × 3
非常・保安電灯変圧器	スコット6. 6 k V / 2 1 0 - 1 0 5 V 3 0 0 k V A × 1

4. 単線結線図



4. 非常用発電機設備計画

1. 非常用発電機設備概要

建築基準法の予備電源、並びに消防法の非常電源として、2階に非常用発電機を設置します。火災停電時以外の災害停電時には、災害対策本部として施設を利用するため、必要とされる負荷に発電源を供給し、災害対策本部としての機能を満たせるように計画します。エンジンはディーゼルエンジンを採用します。燃料小出槽は1,950Lの容量を2階へ設置します。地下タンクは400Lとして計画します。非常用発電機には防振架台を設置し、地震の揺れによる機器の破損を抑制します。

2. 機器仕様

機器形式	屋外パッケージ式(超低騒音型)
定格出力	三相 3 線 2 0 0 V 6 0 H z 3 0 0 k V A
エンジン	ディーゼル発電機
冷却方式 空冷式	
燃料 A 重油	
燃料小出槽	1, 950L 屋外パッケージ式
始動方式 電気式	
運転時間 7 2 時間 (3 日間)	
騒音値 75dB	
地下タンク 4, 000 L	

5. 幹線設備計画

1. 幹線設備概要

受変電設備で降圧した電源を、用途毎に設置した動力制御盤、電灯分電盤、制御盤等へ供給します。幹線は施工性を考慮し、ケーブルラック方式を主体に計画します。防火区画貫通措置は国土交通大臣認定方法によります。幹線ケーブルは環境に配慮しエコマテリアルケーブルを採用します。インフラバイパス仮設工事時に撤去を行っていない配管配線を撤去します。

2. 電源種別・配電電圧・ケーブル仕様

	電源種別	配電電圧	ケーブル仕様
一般電灯	AC単相3線	210/105V	EM-CETケーブル
一般動力	A C 三相 3 線	2 1 0 V	EM-CETケーブル
保安電灯	AC/GC単相3線	210/105V	EM-CETケーブル
保安動力	AC/GC三相3線	2 1 0 V	EM-CETケーブル
非常動力	A C/G C三相3線	2 1 0 V	EM-FPTケーブル

6. 動力設備計画

1. 動力設備概要

空調動力、衛生動力、搬送動力へ電源を供給します。負荷の集中する機械室には動力制御盤を設置します。ファン、ポンプの始動方式は11kW以上をスターデルタ方式とし、11kW未満は直入れ方式とします。動力制御盤と機器が異なる室に設置される場合は、機器を保守点検する際の安全対策として、機器の近傍に手元開閉器を設置します。運転制御上インバーターが必要な場合は電気工事とし、制御は空調換気設備工事の自動制御設備で行います。その他動力機器の発停、警報、計測、計量は、空調換気設備工事の自動制御設備で行います。屋外及び水回りに設置して漏電する恐れがある機器の配線用遮断器は、漏電遮断機とします。

2. 動力設備配管配線

機械室など機器が集中する場所については、**施工性、経済性**を考慮し、ケーブルラック方式を採用します。 機器が集中しない場所については、配管+ケーブル方式を採用します。ケーブルは環境に配慮しエコマテリ アルケーブルを採用します。

7. 電灯コンセント設備計画

1. 電灯コンセント設備概要

EPS内に電灯分電盤を設置し、照明器具、コンセントなど、単相負荷への電源を供給します。また、照明器具、コンセント、照明スイッチなど、機器の取り付けを行います。配線器具のプレートは、全て**新金属製**とします。

2. 照明計画

照明計画は建物の**意匠計画に配慮**すると共に、機能性にも配慮して計画します。照度はJIS Z9125: 2023屋内作業場の照明基準に準拠します。光源は**省エネルギーで環境に優しいLED**を採用します。

3. 点滅計画

執務空間をはじめとする諸室は手元スイッチによる点滅を原則としつつ、照明制御盤により遠方からの点滅が行えるように計画します。廊下やエントランスといった、1日を通して照明の点灯時間が決まっている空間は、照明制御盤からのスケジュール点滅を原則とします。トイレ、給湯室、更衣室、階段は人感センサーによる自動点滅とし、照明の消し忘れによるエネルギーの無駄な消費を削減します。

4. 保安照明

災害停電時において施設を災害対策本部として利用する計画であることを踏まえ、災害停電時に必要とされる室や空間の一部照明を保安照明と位置付け、**非常用発電機から供給される発電電源により点灯可能**とします。

5. 非常照明

建築基準法に準拠して非常用照明を設置します。非常照明は**予備電源内蔵型**とします。光源は**LED**を採用します。

6. 誘導灯

消防法に準拠して誘導灯を設置します。誘導灯は**蓄電池内蔵型**とします。光源は**LED**を採用します。

7. コンセント設備

建物内の各所にコンセントを設置します。給湯室や職員ランチスペースには、冷蔵庫や電気ポット用のコンセントを設置します。その他電源が必要な機器の箇所には、コンセントを設置します。廊下などの共用部分には清掃用コンセントを設置します。

8. 保安コンセント

災害停電時において施設を災害対策本部として利用する計画であることを踏まえ、災害停電時に必要とされる室や空間の一部コンセントを保安コンセントと位置付け、**非常用発電機から供給される電気により使用可能**とします。

8. 構内交換の引込設備計画

1. 構内交換回線の引込設備概要

敷地南西側より地中にて電話回線を引き込みます。敷地境界から地中埋設管路にて建物ピットへ引き込み、電気設備専用のパイプスペース(EPS)を経由しEPS内設置の光成端箱、並びにMDFまでの配管を敷設します。

2. 引込配管

配管サイズ	5 4 φ
条数	3本(メタルケーブル用、光ケーブル用、予備×1)

9. 構内交換設備計画

1. 構内交換設備概要

必要箇所に**モジュラージャック**の敷設を行います。モジュラージャック〜端子盤までの配管配線を敷設しま す。電話交換機等の機器類は別途工事とします。

10. 構内情報通信網の引込設備計画

1. 構内情報通信網の引込設備概要

敷地南西側より**地中**にて**構内情報通信網回線**を引き込みます。敷地境界から**地中埋設管路**にて建物ピットへ 引き込み、電気設備専用のパイプスペース(EPS)を経由して、光成端箱までの配管を敷設します。

2. 引込配管

配管サイズ	5 4 φ
条数	2本(光ケーブル用、予備×1)

11. 構內情報通信網設備計画

1. 構内情報通信網設備概要

サーバー室内に設置が計画されている情報通信網サーバーから、各階EPSに設置が計画されているS-H UBを経由して、各所に設置した情報通信網モジュラージャックに至る配線経路を確保します。なお各階E PSに設置が想定されているS-HUBから情報通信網モジュラージャックに至る配管配線は本工事としま す。

2.Wi-Fi 用空配管設備設備

建物内の各所にWi-Fi用アクセスポイントの設置を想定し、EPSからの配線が敷設できるように空配 管を敷設します。ルーター、サーバー、無線アクセスポイント等の機器類及び配線は別途工事とします。

12. 拡声設備計画

1. 拡声設備概要

消防法に準拠し中央監視室に設置した非常業務兼用放送アンプにより、建物内に業務放送、並びに非常放送 を行えるシステムを構築します。業務放送はBGM放送や、年間プログラムタイマーによるチャイム放送も 行える仕様とします。アッテネーターは音量調整が必要な諸室の壁に設置し、廊下等の共用部はスピーカー 内蔵型とします。別館放送アンプと新本館の受放送アンプ連動が可能なように計画します。

13.AV・議場設備計画

1.AV 設備概要

各会議室や大会議室には、マイク、ワイヤレスマイク、スピーカー、モニター等の AV 設備の設置を計画します。 映像の表示箇所の変更を容易に行えるよう移動式モニターを設置します。

2. 議場設備概要

議場には円滑な議会運営が可能となる議場設備の計画を行います。事務局長席や理事者席、議員用席にはマ イクの設置を行います。傍聴席へは、議会の映像及び音声が視聴できるよう計画します。

14. 電気時計設備計画

1. 電気時計設備概要

建物内並びに外構において時刻が確認できるように、電気時計を設置します。中央監視室に親時計を、また 建物内諸室に子時計を設置します。親機は自動時刻補正機能付とします。子時計は視認性に配慮して大きさ、 形状を選定します。別館親時計と新本館親時計が時刻の連動が出来るように計画します。

15. テレビ共聴設備計画

1. テレビ共聴設備概要

建物屋上にテレビ共聴アンテナを設置し、増幅器、分配器、分岐器を経由して建物内の各所へテレビ映像を 配信します。機器については4K、8K放送対応品を採用します。

2. 設置アンテナ

- ・地上波デシタル放送アンテナ
- BS/110° CSアンテナ
- $\cdot CSTV + (AAATV)$

16. インターホン設備計画

1. インターホン設備概要

夜間の受付用として出入口にカメラ付きドアホンを設置し、1階中央監視室に設置したモニター付親機にて 映像確認の後、通用口扉の電気錠を解錠するシステムとします。エレベーターかご内と中央監視室間の連絡 用として、エレベーター用インターホンを設置します。なお機器は昇降機設備工事とします。

17. トイレ呼出表示設備計画

1. トイレ呼出表示設備概要

各階多目的WC内、並びに授乳室内に呼出用押釦を設置し、有事の際にこの釦を押すことで中央監視室に設置した呼出表示盤に警報を出力し、職員が対応できるシステムとします。

18. 情報表示設備計画

1. 情報表示設備概要

来館者への情報提供や、ホールにおける利用状況の表示などを目的として、**1階エントランスに情報表示モニターを設**置します。表示内容は**1階中央監視室に設置の専用パソコンで操作可能なシステム**とします。

19. 監視カメラ設備計画

1. 監視カメラ設備概要

不特定多数の人物が出入りする場所や、事故や怪我を引き起こす恐れがある場所を主体に、監視カメラを設置し、中央監視室に設置した監視モニターで常時監視すると共に、カメラ映像をハードディスクに録画し、 事故などの状況確認が可能なシステムとします。中央監視室に監視モニター、ハードディスクなどを組み込んだ、監視カメラ制御架を設置します。監視カメラの方式はネットワークカメラとします。

2. 機器仕様

カメラ	ドーム型フルHDネットワークカメラ(天井埋込型) 屋外赤外フルHDネットワークカメラ(ハウジング型)
ITV架	自立ラック架
監視モニター	23型液晶モニター
記録条件	フレームレート: 2フレーム/秒 (常時記録) 画像保存期間:1ヶ月 HDD容量:8TB

20. 自動火災報知設備計画

1. 自動火災報知設備概要

消防法に準拠し建物内の各所に火災感知器を設置し、中央監視室に設置した**自動火災報知受信機に火災発生を報知するシステム**とします。**受信機はR型**とします。火災感知器は**アナログ感知器**を採用し、**火災発生の早期発見に配慮**します。感知器は**自動試験機能付**とし、**保守の用意利便性に配慮**します。別館受信機と新本館の受信機が代表信号が取れるように計画します。

2. 防排煙連動制御設備概要

建築基準法に準拠し建物内の各所に設けた火災感知器により、**防火扉や防火シャッターの閉鎖制御**、また排煙口手動開放装置の操作による排煙機の起動などを行うシステムとします。

3. ガス漏れ警報設備概要

・建物内でガスを使用する場所がないため、ガス漏れ警報設備は設置しません。

4. 光警報設備概要

男子WC、女子WC、多目的WCに火災が発生した際に**ストロボライトを点滅**させることで、**聴覚障害者に** 対して火災が発生した旨を報知する、光警報装置を設置します。光警報装置は消防認定品を採用します。

21. 防犯・入退室設備計画

1. 防犯・入退室設備概要

1 階出入口やサーバー室等、関係者以外が立ち入らない扉を電気錠で施錠し、扉近傍に設置したカードリーダーにセキュリティカードをかざすことで電気錠を解錠し、扉の通行を許可するシステムとします。カード仕様は非接触式 I Cカード(タイプ:C)とします。

22. 機械警備用配管設備計画

1. 機械警備用配管設備概要

1階外壁廻りにおいて、窓や扉など外部から不法侵入される恐れのある場所に、機械警備会社が各種防犯機器を取り付けることを踏まえ、これらの場所から機械警備制御盤の設置が想定される中央監視室まで配線が敷設できるように、空配管を敷設します。機械警備制御盤や各種防犯機器、並びに配線工事は別途工事とします。

23. 太陽光発電設備計画

1. 太陽光発電設備概要

駐輪場屋根部に太陽光パネルを設置します。太陽光パネルで発電でした直流電源をパワーコンディショナーで交流電源に変換した後、屋上キュービクルに系統連系し、単相負荷に発電電力を供給できるシステムとします。太陽光パネルは、410W 20 枚、パワーコンディショナー 10kW、小型計測装置、表示装置 43 型として計画します。太陽光パネルで発電でした直流電源をパワーコンディショナーで交流電源に変換した後、屋上キュービクルに系統連系し、単相負荷に発電電力を供給できるシステムとします。太陽光パネルは、410W 20 枚、パワーコンディショナー 10kW、小型計測装置、表示装置 43 型として計画とします。

2. 再生可能エネルギー利用の周知

1階エントランスに太陽光発電電力表示モニターを設置し、来館者に対して行政機関として積極的に再生可能エネルギーを活用していることを、周知できるようにします。

24. 雷保護設備計画

1. 雷保護設備概要

建築基準法に準拠し JIS Z 9290-3:2019 の規格に適合する雷保護設備を構築します。

2. 機器仕様

突針	JIS中型
水平導体	アルミ導線
引下導体	構造体(鉄骨)を利用

3. 雷サージからの保護

建物内の電気機器を雷サージによる過電圧破壊から保護する目的に、必要各所にSPDを設置します。

4.SPD の主な場所

クラス I 、II カテゴリC2、D1	電力引き込み口(引き込み配管) 通信引き込み口(MDF内) 屋外から屋内に引き込む配管 導電性部分
クラス II カテゴリC 2	動力制御盤 電灯分電盤 弱電端子盤 自火報中継器盤

25. 音声誘導設備計画

1. 音声誘導設備概要

建物入り口付近に送受信アンテナとスピーカーを設置し、**視覚障害者が約15m以内**に近づくと、携帯している送受信機に、**送受信アンテナから音声案内を受けられることを知らせる電子音を送信**します。視覚障害者が音声誘導を希望するのであれば、携帯している送受信機のボタンを押すことで、スピーカーから具体的な音声案内が放送されます。

2. 機器構成

視覚障害者携帯	小型送受信機
建物入口廻り	送受信アンテナ スピーカー (防滴型)
EPS	音声標識ガイド装置

26. 駐車場管制設備計画

1. 駐車場管制設備概要

駐車場の入庫部に**駐車券発行機及びカーゲート、インターホンを設置**します。出庫ゲート部には、**精算機、カーゲート、インターホンを設置**します。中央監視室には、インターホンの設置を行い、カーゲート部からの応答が可能な計画とします。事前精算機を市庁舎入口へ設置し清算が出来るよう計画します。

27. 防災無線設置計画

1. 防災無線設置概要

防災無線の設置は別途工事とし、設置位置から機器間の配線ルートの確保を行うので、**空配管の設置**を行います。

28. 出退表示設備計画

1. 出退表示設備概要

出退表示設備の設置は別途工事とし、設置位置から機器間の配線ルートの確保を行うので、**空配管の設置**を 行います。

基本設計図書

29. 電気設備諸元表 -1 4. 電気設備計画

				人員											電気	気設備										
階室名	床面積	天井 高		密度		利田吐明世	災害時			電灯										弱電	設備		,			
	(m²)	(m)	(m3)	(人 /m2)	(人)	利用時間帯	室使用	設定照度 (lx)	機器仕様	災害時 利用 (AC/G	照明点滅方式 扌	非常照明	一般コ ンセン ト	災害時 利用 (AC/G	電話	情報 (LAN)	放送	AV設備	インターホン	トイレ呼出	テレビ	電波時計	ITVカ メラ	防犯配管	カード リー 自火幸) III 9
1 エントランスホール	418.00	3.50	1463.0	0.1	42	8:30 ~ 17:30		300	*ウンライト+間接照		スケジュール制御	0	0		0	0	0		0		0	0	0	0	0 0	
1 市民ギャラリー	60.00	3.50	210.0	0.2	12	8:30 ~ 17:30	0	500	スポットライト	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0				0	0			0	
1 執務室1-1	533.00	3.00	1599.0	定員	94	8:30 ~ 17:30	0	750	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0				0	0			0	
1 執務室1-2	300.00	3.00	900.0	定員	45	8:30 ~ 17:30	0	750	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0				0	0			0	
1 執務室1-3	47.00	3.00	141.0	定員	7	8:30 ~ 17:30	0	300	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0				0	0			0	
1 清掃員控室	21.00	2.40	50.4	0.2	5	24h		500	埋込型照明		個別制御	0	0		0	0	0				0	0			0	
1 中央監視室	22.00	2.40	52.8	0.2	5	24h		750	埋込型照明		個別制御	0	0		0	0	0		親機	表示器	0	親時計	ITV架		主装置 受信格	<u>&</u>
1 宿直室	18.00	2.40	43.2	0.2	4	24h		500	埋込型照明		個別制御	0	0		0	0	0				0	0			0	
1 売店	75.00	3.00	225.0	0.2	15	8:30 ~ 17:30		500	非常照明のみ		個別制御	0	0				0								0	
1 廊下1-1	85.00	3.50	297.5	0.1	9	8:30 ~ 17:30	0	200	スポットライト	20%	スケジュール制御	0	0	20%			0						0	0	0	
1 廊下1-2	38.00	2.80	106.4	0.1	4	8:30 ~ 17:30	0	200	ダウンライト	20%	スケジュール制御	0	0	20%			0						0	0	0	
1 雨水ろ過室	42.00	4.60	193.2			8:30 ~ 17:30		100	直付照明		個別制御		0				0								0	
1 空調機械室1-1	35.00	4.60	161.0			8:30 ~ 17:30		100	直付照明		個別制御		0				0								0	
1 倉庫1-1	17.00	4.60	78.2			8:30 ~ 17:30		100	直付照明		個別制御		0				0								0	
1 倉庫1-2	7.00	4.60	32.2			8:30 ~ 17:30		100	直付照明		個別制御		0				0								0	
1 ゴミ集積場	25.00	4.60	115.0			8:30 ~ 17:30		150	直付照明		個別制御	0	0				0								0	
1 オイルギアポンプ室	14.00	3.00	42.0			-		100	直付照明		個別制御		0				0								0	
1 ATMコーナー	29.00	2.40	69.6			8:30 ~ 17:30		300	ダウンライト		個別制御	0	0		0	0	0						0	0	0	
1 消火ポンプ室	36.00	4.60	165.6			-		100	直付照明		個別制御		0				0								0	
2 執務室2-2	269.00	2.80	753.2	定員	29	8:30 ~ 17:30	0	750	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0				0	0			0	
2 執務室2-1	447.00	2.80	1251.6	定員	89	8:30 ~ 17:30	0	750	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0				0	0			0	
2 共用スペース・会議室	128.00	2.80	358.4	0.5	64	8:30 ~ 17:30	0	750	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0				0	0			0	
2 会議室2-1	30.00	3.90	117.0	0.5	15	8:30 ~ 17:30	0	750	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0	0			0	0			0	
2 消費生活相談室	12.00	2.40	28.8	0.2	3	8:30 ~ 17:30		750	埋込型照明		個別制御	0	0		0	0	0				0	0			0	
2 共用部2	371.00	2.80	1038.8	0.1	38	8:30 ~ 17:30		200	ダウンライト		スケジュール制御	0	0				0					0	0	0	0	
2 廊下2-1	70.00	2.80	196.0	0.1	7	8:30 ~ 17:30	0	200	ダウンライト	20%	スケジュール制御	0	0	20%			0						0	0	0	
2 廊下2-2	19.00	2.80	53.2	0.1	2	8:30 ~ 17:30	0	200	ダウンライト	20%	スケジュール制御	0	0	20%			0						0	0	0	
2 渡廊下	15.00	2.80	42.0	0.1	2	8:30 ~ 17:30		200	ダウンライト		スケジュール制御	0	0				0					0	0	0	0	
2 倉庫2-1	30.00	3.90	117.0			8:30 ~ 17:30		100	直付照明		個別制御		0				0								0	
2 ドライルーム	26.00	2.40	62.4			8:30 ~ 17:30		200	埋込型照明		個別制御	0	0				0								0	

基本設計図書

29. 電気設備諸元表 -2 4. 電気設備計画

									電気設備																	
DH:	= 4	床面積	天井	容積	密度	在室		災害時			電灯	[設備								弱電	設備					/## - # #
陷	室名	(m²)	(m)	(m3)	人	人貝 (人)	利用時間帯	室使用	設定照度	14% BD / I 144	災害時		⊢ 244 022 nG	一般コ	災害時	#5-1	情報	+4.44	A1/=D/# />b +>	トイレ	-1.12	電波時	ITVカ	防犯配 カードリー	⇔ .1.±0	備考
					/m2)				(lx)	機器仕様	利用 (AC/G	照明点滅方式 非	F吊职明.	ト	利用 (AC/G	电话	情報 (LAN)	放送	AV設備 インターホン	呼出	TVE	計	メラ	管 ダー	日火報	
3	執務室3-2	323.00	2.80	904.4	定員	56	8:30 ~ 17:30	0	750	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0			0	0			0	
3	執務室3-1	40.00	2.80	112.0	定員	5	8:30 ~ 17:30		750	埋込型照明		個別制御	0	0		0	0	0			0	0			0	
3	会議室3-4	35.00	2.80	98.0	0.2	7	8:30 ~ 17:30	0	750	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0			0	0			0	
3	待合スペース	33.00	2.80	92.4	0.2	7	8:30 ~ 17:30	0	750	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%			0				0			0	
3	応接室	47.00	2.80	131.6	0.2	10	8:30 ~ 17:30	0	750	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0			0	0			0	
3	執務室3-5	52.00	2.80	145.6	0.2	11	_		750	ダウンライト		個別制御	0	0		0	0	0			0	0			0	
3	執務室3-4	42.00	2.80	117.6	0.2	9	_		300	ダウンライト		個別制御	0	0		0	0	0			0	0			0	
3	執務室3-3	42.00	2.80	117.6	0.2	9	_		750	ダウンライト		個別制御	0	0		0	0	0			0	0			0	
3	特別会議室	145.00	2.80	406.0	0.5	73	8:30 ~ 17:30	0	500	ダウンライト	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0	0		0	0			0	
3	会議室3-1	45.00	2.80	126.0	0.5	23	8:30 ~ 17:30	0	500	ダウンライト	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0	0		0	0			0	
3	会議室3-2(将来執務室)	44.00	2.80	123.2	0.5	22	8:30 ~ 17:30	0	500	ダウンライト	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0	0		0	0			0	
3	会議室3-3(将来執務室)	76.00	2.80	212.8	0.5	38	8:30 ~ 17:30		500	ダウンライト		個別制御	0	0		0	0	0	0		0	0			0	
3	郵便作業室	18.00	2.80	50.4	0.2	4	8:30 ~ 17:30		500	埋込型照明		個別制御	0	0		0	0	0				0			0	
3	印刷室	41.00	2.80	114.8	0.2	9	8:30 ~ 17:30		500	埋込型照明		個別制御	0	0		0	0	0				0			0	
3	共用部3	227.00	2.80	635.6	0.1	23	8:30 ~ 17:30	0	200	ダウンライト	20%	スケジュール制御	0	0	20%			0				0	0	0	0	
3	廊下3-1	63.00	2.80	176.4	0.1	7	8:30 ~ 17:30		200	ダウンライト		スケジュール制御	0	0				0					0	0	0	
3	廊下3-2	45.00	2.80	126.0	0.1	5	8:30 ~ 17:30		200	ダウンライト		スケジュール制御	0	0				0					0	0	0	
3	廊下3-3	96.00	2.80	268.8	0.1	10	8:30 ~ 17:30		200	ダウンライト		スケジュール制御	0	0				0					0	0	0	
3	渡廊下	15.00	2.80	42.0	0.1	2	8:30 ~ 17:30		200	ダウンライト		スケジュール制御	0	0				0					0	0	0	
3	集密書架	59.00	3.90	230.1			8:30 ~ 17:30		100	直付照明		個別制御	0	0				0							0	
3	防災備蓄倉庫	25.00	3.90	97.5			_	0	100	直付照明	20%	個別制御	0	0	20%			0							0	
3	トイレ(執務室3-5)	2.40	2.4	5.8			随時		150	ダウンライト		人感センサー		0												
4	執務室4-1	404.00	2.80	1131.2	定員	71	8:30 ~ 17:30	0	750	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0			0	0			0	
	会議室4-1		2.80				8:30 ~ 17:30		750	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0			0	0			0	
4	税コールセンター	17.00	2.40	40.8	0.2	4	8:30 ~ 17:30		750	埋込型照明		個別制御	0	0		0	0	0				0			0	
	男子更衣室	25.00	2.40	60.0			8:30 ~ 17:30		200	埋込型照明		個別制御	0	0				0							0	
	女子更衣室	25.00	2.40	60.0			8:30 ~ 17:30		200	埋込型照明		個別制御	0	0				0							0	
	休憩室			338.8	+		8:30 ~ 17:30		300	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%			0				0			0	
	共用部4	179.00	2.80	501.2	+ +		8:30 ~ 17:30		200	埋込型照明		スケジュール制御	0	0				0					0	0	0	
	廊下4-1	62.00	2.80	173.6	0.1	7	8:30 ~ 17:30		200	埋込型照明		スケジュール制御		0				0					0	0	0	
	廊下4-2	16.00	2.80	44.8			8:30 ~ 17:30		200	埋込型照明		スケジュール制御	0	0				0					0	0	0	
	渡廊下		2.80				8:30 ~ 17:30		200	埋込型照明		スケジュール制御	0	0				0					0	0	0	
	男子シャワー室			38.4			8:30 ~ 17:30		200	防湿・防雨型照明		個別制御			20%			0								
	女子シャワー室			38.4			8:30 ~ 17:30		200	防湿・防雨型照明	20%	個別制御			20%			0								
-	倉庫4-1			117.0		0	8:30 ~ 17:30		100	直付照明		個別制御		0				0							0	
	電話交換室			40.8		0	_		500	埋込型照明		個別制御	0	0		0	0	0				0		0	0	
	執務室4-2			358.4			_		500	埋込型照明		個別制御	0	0		0	0	0				0		0	0	
4	ガス消火用ボンベ室	13.00	2.80	36.4		0	_		100	直付照明		個別制御		0		0	0	0							0	

29. 電気設備諸元表 -3 4. 電気設備計画

					人員			電気設備																
胀	室名		天井	容積	密度	41 ⊞ n+ 88 ₩	災害時			電灯	設備								弱電	設備				備考
ra			(m)	(m3)	(人 /m2) (人)	利用時間帯	室使用	設定照度 (lx)	機器仕様	災害時利用	照明点滅方式 非	常照明	ンセン	災害時利用	電話	情報 (LAN)	放送	AV設備 インターホン	トイレ 呼出	テレビ	電波時計	ITVカ メラ	防犯配 カードリー 自火報	. с. ви
5	議場	312.00	5.00	1560.0	定員 77	8:30 ~ 17:30	0	500	゚ウンライト+埋込照「	(AC/G 20%	個別制御	0	0	(AC/G 20%	0	0	0	0		0	0		0	
		312.00		1560.0	定員 77			500	*ウンライト+埋込照		個別制御	0	0	20%	0	0	0	0		0	0		0	
	議会事務局			106.4	定員 6	8:30 ~ 17:30		500	埋込型照明	2070	個別制御	0	0	2070	0	0	0			0	0		0	
	正副議長室			142.8	0.2 11			500	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0			0	0		0	
	応接室			98.0	0.2 7	8:30 ~ 17:30		500	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0			0	0		0	
	委員会室			117.0	0.2 8	8:30 ~ 17:30		500	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0			0	0		0	
	議員控室1			53.2	0.2 4	8:30 ~ 17:30	0	500	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0			0	0		0	
	議員控室2			53.2	0.2 4	8:30 ~ 17:30	0	500	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0			0	0		0	
	議員控室3	19.00	2.80	53.2	0.2 4	8:30 ~ 17:30	0	500	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0			0	0		0	
	議員控室4	19.00	2.80	53.2	0.2 4	8:30 ~ 17:30	0	500	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0			0	0		0	
5	議員控室5	19.00	2.80	53.2	0.2 4	8:30 ~ 17:30	0	500	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0			0	0		0	
5	議員控室6	19.00	2.80	53.2	0.2 4	8:30 ~ 17:30	0	500	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0			0	0		0	
5	全員協議会室	65.00	4.00	260.0	0.5 33	8:30 ~ 17:30	0	500	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0	0		0	0		0	
5	面談室5-1	12.00	2.40	28.8	0.2 3	8:30 ~ 17:30	0	500	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0			0	0		0	
5	面談室5-2	12.00	2.40	28.8	0.2 3	8:30 ~ 17:30	0	500	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0			0	0		0	
5	面談室5-3	10.00	2.40	24.0	0.2 2	8:30 ~ 17:30	0	500	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0			0	0		0	
5	相談室5-1	10.00	2.40	24.0	0.2 2	8:30 ~ 17:30	0	500	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0			0	0		0	
5	相談室5-2	10.00	2.40	24.0	0.2 2	8:30 ~ 17:30	0	500	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%	0	0	0			0	0		0	
5	議会図書室	42.00	2.80	117.6	0.2 9	8:30 ~ 17:30		200	埋込型照明		個別制御	0	0				0						0	
5	共用部5	80.00	5.00	400.0	0.1 8	8:30 ~ 17:30		200	埋込型照明		スケジュール制御	0	0				0					0	0 0	
5	廊下5-1	70.00	5.00	350.0	0.1 7	8:30 ~ 17:30		200	ダウンライト		スケジュール制御	0	0				0					0	0 0	
5	廊下5-3	37.00	2.80	103.6	0.1 4	8:30 ~ 17:30		200	ダウンライト		スケジュール制御	0	0				0					0	0 0	
5	廊下5-2	250.00	2.80	700.0	0.1 25	8:30 ~ 17:30		200	ダウンライト		スケジュール制御	0	0				0					0	0 0	
5	倉庫5-1	15.00	6.10	91.5		8:30 ~ 17:30		200	直付照明		個別制御		0				0						0	
5	防災無線室	15.00	6.10	91.5		_		500	埋込型照明		個別制御		0		0	0	0				0		0	
5	空調機械室3-1	40.00	6.10	244.0		_		100	直付照明		個別制御		0				0						0	
5	録音室	16.00	6.10	97.6		8:30 ~ 17:30		300	直付型照明器具		個別制御	0	0		0	0	0				0		0	
																							0	
6	歴史展示ギャラリー	54.40	2.80	152.3	0.2 11	8:30 ~ 17:30	0	300	゚ウンライト+間接照	20%	スケジュール制御	0	0	20%	0	0	0			0	0		0	
6	あおぞらカフェ/厨房(一般換気)	24.20	2.80	67.8	0.2 5	8:30 ~ 17:30	0	500	゚ウンライト+間接照「	20%	スケジュール制御	0	0	20%			0						0	
6	あおぞらカフェ/客席	48.40	2.80	135.5	0.2 10	8:30 ~ 17:30	0	300	゚ウンライト+間接照	20%	スケジュール制御	0	0	20%			0						0	
6	廊下-1	67.00	4.00	268.0	0.1 7	8:30 ~ 17:30	0	200	埋込型照明	20%	スケジュール制御	0	0	20%			0					0	0 0	
6	あおぞらカフェ/厨房	24.20	2.50	60.5		8:30 ~ 17:30	0	500	埋込型照明	20%	個別制御	0	0	20%			0						0	
各階	男子WC		2.40			随時	0	150	ダウンライト	20%	人感センサー		0	20%										
各階	女子WC		2.40			随時	0	150	ダウンライト	20%	人感センサー		0	20%										
	多目的WC		2.40			随時	0	150	ダウンライト	20%	人感センサー		0	20%					0					
	授乳室		2.40			随時	0	150	ダウンライト	20%	個別制御	0	0	20%			0						0	
	男子パウダールーム		2.40			随時		150	ダウンライト		個別制御	0	0				0						0	
各階	女子パウダールーム		2.40			随時		150	ダウンライト		個別制御	0	0				0						0	

1. 基本方針

本計画を設計するにあたり、「環境負荷低減」、「維持管理性」、「防災性」、「省エネルギー性」に配慮します。

1. 環境負荷低減

高効率機器の採用、最適な空調システム計画により本施設で使用されるエネルギーの効率化を図るとともに、 ZEB Ready 取得を目指します。

2. 維持管理性

設備機器の維持管理及び更新に配慮し、使い勝手の良い汎用機器を採用します。

3. 防災性

災害時において、本施設に災害対策本部が設置されることから、災害時を考慮した設備計画とします。

4. 省エネルギー性

高効率機器を採用するとともに、複数接続の室外機は**台数制御**を行うことで空調エネルギーの低減を図りま す。一般居室の換気設備には全熱交換器ユニットを採用し、空調機器の外気負荷の低減を図ります。

2. 設計用温湿度条件

1. 設計条件

設計用外気条件及び室内条件を下記に示します。(「建築設備設計基準 令和 3 年版」より「大阪」参照) ①外気条件(機器選定条件)

	乾球温度 DB[℃]	湿球温度 WB[℃]	絶対湿度 [g/kg(DA)]	相対湿度	比Iンタルピ- [KJ/kg(DA)]
夏期	35.7	27.5	19.3	65.0	98.2
冬期	1.8	-0.7	2.5	58.7	8.1

②室内条件(機器選定条件)下記に代表室を示します。

		冷	房	暖	房	OA負荷	照明負荷	人員密度	SH	LH	単位 外気量	
階	室名	温度 [°C]	湿度 [%]	温度 [°C]	湿度 [%]	[W/m²]	[W/m²]	[人/㎡]	[W/人]	[W/人]	[m3/h·人]	備考
共通	執務室	26	成行	22	40	-	9	定員	69	53	30	
六匝	会議室	26	成行	22	40	-	9	0.5	67	49	30	
1F	エントランスホール	26	成行	22	40	-	8	0.1	69	53	30	直膨式空調機
3F	市長室	26	成行	22	40	-	9	定員	69	53	30	
31	副市長室	26	成行	22	40	-	9	定員	69	53	30	
4F	休憩室	26	成行	22	40	9	9	0.3	79	67	30	
4F	サーバー室	24	成行	24	成行	-	-	-	1	-	-	300W/㎡想定
5F	議場・傍聴席	26	成行	22	40	18	9	定員	69	53	30	直膨式空調機
6F	歴史展示ギャラリー	26	成行	22	40	-	6	0.3	69	53	30	

3. 空調設備計画

1. 空調設備概要

本建物の熱源方式の採用にあたって、経済性・環境性・維持管理性などの観点より、電気式空冷ヒートポンプ パッケージ(EHP)にて計画します。室外機は ZEB Ready 取得を目指すため、高 COP 型の室外機を採用 します。1 階エントランスホールおよび 5F 議場の空調方式は、大空間であることから、電気熱源による直膨 式空調機(単一ダクト方式)にて計画します。各階共用部は意匠性に配慮し、天井隠蔽形室内機にて計画しま す。室外機の設置場所は各階のメンテナンス性に配慮し、各階バルコニーとします。1階コンビニは室外機の 設置場所確保および冷媒管ルート確保までを想定します。(内装は C 工事対応とします。) 別館は『2. 建築計 画⑲別館改修計画』に記載の改修を行います。中圧ガスを利用したガス熱源ヒートポンプパッケージ(GHP) **の導入**について検討を行います。

代表室の空調方式及び熱源方式を下記に示します。

室名	空調方式	熱源
1階 エントランスホール	直膨式空調機	EHP
1~5 階 執務室	天井隠蔽形・天井カセット形 パッケージ室内機	EHP
4階 サーバールーム	床置き形パッケージ空調機	EHP
5 階 議場	直膨式空調機	EHP
各階 会議室	天井カセット形パッケージ室内機	EHP
各階 共用部	天井隠蔽形パッケージ室内機	EHP

基本設計図書

2. 災害時の空調・換気計画

下記対象室は災害時に災害対策本部として利用想定とします。対象室は災害時に電力が途絶えた場合を想定し、非常用電源(電気工事)を送り、空調および換気が出来る計画とします。

室名	空調の 有無	換気の 有無	備考
1階 エントランス	0	0	
1階 市民ギャラリー	0	0	
1階 中央監視室	0	0	
2階 共用スペース・会議室	0	0	
3階 行政マネジメント課	0	0	
3階 庁議室	0	0	
3階 特別会議室	0	0	
3階 会議室	0	0	
3階 会議室3-2(将来機械室)	0	0	
3階 会議室3-3(将来危機管理課)	0	0	
3階 共用部	0	0	
4階 休憩室	0	0	
4階 サーバー室	0	0	
6階 あおぞらカフェ	0	0	
各階 授乳室	-	-	

4. 換気設備計画

1. 換気設備概要

換気設備は、室内用途、使用時間、室内で発生する熱や臭気、塵埃の除去など室内の環境を維持する目的で適切なゾーニング及び方式にて換気を行います。一般居室の換気は全熱交換器を設置し、室内空気と外気の熱交換を行うことで省エネルギーを図ります。居室に設置する全熱交換器は加湿付きとします。外気の取り入れおよび排気については、各階外壁面のガラリにて行います。換気ファンは、利用頻度の比較的多い室はタイマー発停、利用頻度が少ない室については人感センサーでの発停とし、消費電力の低減を図ります。別館は『2. 建築計画⑩別館改修計画』に記載の改修を行います。

「換気方式・換気回数〕

室名	換気の目的	換気方式	換気回数	備考
執務室	新鮮外気の導入	第1種換気	30m3/h・人	単位換気量
会議室	新鮮外気の導入	第1種換気	30m3/h・人	単位換気量
便所	臭気の除去	第3種換気	10∼15 回/h	
倉庫	塵埃の除去	第3種換気	5 回/h	
シャワー室	湿気の除去	第3種換気	10 回/h	
種機械室	塵埃の除去	第1種換気	5 回/h	サーモ発停

5. 排煙設備計画

1. 排煙設備概要

排煙設備は建築基準法および消防法に準拠して設置します。排煙機は1系統とし、6階屋上に設置します。

6. 自動制御設備計画

1. 自動制御設備概要

施設内の使い勝手の簡便さを図るとともに、無駄のないエネルギー管理や設備機器の監視を行うことができる制御システムとします。中央監視装置は既存庁舎に設置している中央監視装置2台を移設し利用します。中央監視装置は本施設の設備機器の監視だけでなく、既存別館の設備機器の監視も行います。中央監視装置は1階中央監視室に設置し、設備機器類の発停・監視及び電力・上水の計量を行います。パッケージ空調及び全熱交換器は集中リモコンを1階中央監視室に設置して管理します。照明制御については照明制御盤(電気工事)にて監視します。

<制御および監視の対象項目>

- ・直膨式空調機周りの制御および警報
- ・雨水利用設備周りの制御および警報
- ・ポンプ類の警報
- ・給水量および電力量の計量

- ・受水槽周りの制御および警報
- ・キュービクルおよび盤類の警報
- ・水槽類の警報

1. 基本方針

本計画を設計するにあたり、「環境負荷低減」、「維持管理性」、「防災性」、「省エネルギー性」に配慮します。

1. 環境負荷低減

水資源の有効活用の観点から、衛生器具には節水型を採用するとともに、雨水利用設備にて雨水を処理し、 トイレ洗浄水および植栽散水用として利用します。

2. 維持管理性

設備機器の維持管理及び更新に配慮し、使い勝手の良い汎用機器を採用します。

3. 防災性

災害時において、本施設に災害対策本部等が設置されることから、**災害時を考慮した設備計画**とします。外構にはマンホールトイレを設けて、公共下水道が機能停止した場合でも一定期間トイレ利用が可能なよう計画します。

4. 省エネルギー性

大便器や小便器は**節水型器具を採用**し、**給水使用量の低減**を図ります。トイレ洗浄水および植栽散水用として**雨水利用設備を設置**し、**給水使用量の低減**を図ります。給湯器には**潜熱回収型を採用**し、**消費エネルギー 低減**を図ります。

2. 給水設備計画

1. 給水設備概要

敷地南側前面道路内に敷設された水道本管 150A より敷地内に引き込まれている既存 75A から分岐させて、2 階の上水用受水槽(有効容量:10m³)とピット利用の雑用水槽(有効容量:43m³)に供給します。給水系統は上水系統(飲料・手洗い用)と雑用水系統(洗浄水・植栽散水用)の2系統とし、各水槽から加圧給水ポンプ(3 台ローテーション2 台並列運転)にて各箇所に供給します。雑用水槽の水源は上水系統および雨水利用系統とします。1 階売店は区画内の配管突き出しまでを想定します。(内装は C 工事対応とします。)本建物と干渉する既存の屋外埋設給水管は撤去とします。別館は「2. 建築計画 ⑩別館改修計画」に記載の改修を行います。

2. 給水量の算定

階数	用途	床面積 [㎡]	天井高さ [m]	人員密度	人員 [人]	回転数	給水量原単位 [L/人・日]	上水量30% [L/日]	雑用水量70% [L/日]	備考
	執務エリア 職員	873	3.0	定員	154	-	80	3696	8624	
	執務エリア 来客者	-	-	職員×10%	15	3	80	1109	2587	
1F	売店	156	3.0	0.3	47	3	35	1474	3440	
11	中央監視室	25	3.0	0.1	2.5	-	80	60	140	
	清掃員室	17	2.4	0.1	1.7	-	80	41	95	
	市民ギャラリー	136	3.8	0.3	41	2	35	571	1333	
2F	執務エリア 職員	754	2.8	定員	86	-	80	2064	4816	
2F	執務エリア 来客者	-	-	職員×10%	9	3	80	619	1445	
	執務エリア 職員	382	2.8	定員	57	-	80	1368	3192	
	執務エリア 来客者	-	-	職員×10%	6	3	80	410	958	
3F	市長室・副市長室	136	2.8	0.1	14	-	80	326	762	
	庁議室	35	2.8	0.1	4	-	80	84	196	
	秘書課	40	2.8	0.1	4	-	80	96	224	
4F	執務エリア 職員	387	2.8	定員	77	-	80	1848	4312	
	執務エリア 来客者	-	-	職員×10%	8	3	80	554	1294	
	議長・議員個室	168	2.8	0.2	34	-	80	806	1882	
5F	事務局・委員会室	143	3.0	0.2	29	-	80	686	1602	
	議場・傍聴席	168	3.0	定員	77	-	80	1848	1412	
6F	展示ギャラリー・展望室	153	2.7	0.3	46	3	35	1446	3374	
OI OI	カフェ	55	2.7	0.3	17	3	35	520	1213	
							合計	19628	45798	一日使用水量
	請容量=一日使用水量×5/10ℓ 引水は災害時に7日分の雑用水硝	23								

3. 雨水排水設備計画

1. 雨水排水設備概要

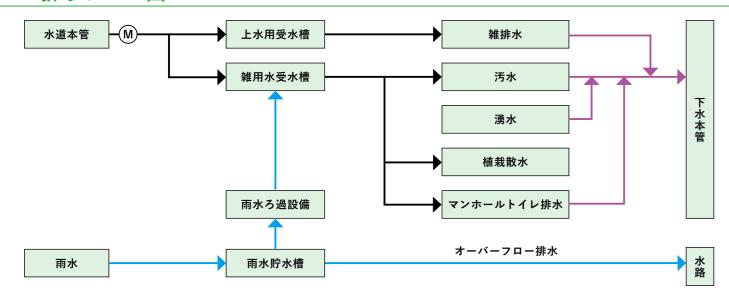
建物屋根面に降った雨水をピットの雨水貯留槽(有効容量:122m³)に貯水し、雨水ろ過設備にて処理後、 雑用水槽に貯留しトイレ洗浄水及び植栽散水として利用します。

4. 排水設備計画

1. 排水設備概要

本建物内は、汚水・雑排水、雨水、厨房排水の系統で計画します。汚水・雑排水については自然放流とします。 本建物からの汚水雑用排水はインフラバイパス工事にて公共汚水桝に接続とします。(前面東側道路内敷設の下水本管 250A にインフラバイパス工事にて引込管 200A 設置済み)マンホールトイレの排水系統は本建物の屋外桝に接続します。ピット内の湧水対策として、湧水ポンプを設置し、ポンプアップにて汚水系統に接続します。外構の雨水浸透施設については建築工事とします。1 階売店は区画内の配管突き出しまでを想定します。(内装は C 工事対応とします。)本建物と干渉する既存の屋外埋設管は撤去とします。別館は「2.建築計画 ⑨別館改修計画」に記載の改修を行います。

2. 排水フロー図



5. 衛生器具設備計画

1. 衛生器具設備概要

衛生器具は、資源の有効活用を図るため節水型の器具を採用します。

2. 衛生器具の仕様

・大便器 :壁掛フラッシュタンク式洋風大便器 (再生水利用タイプ)

・小便器 :壁掛け式低リップ型小便器(再生水利用タイプ)

・洗面器 :カウンター式洗面器+自動単水栓

・掃除流し:掃除流し+単水栓

· 給湯室 : 混合水栓

6. 給湯設備計画

1. 給湯設備概要

給湯設備は**局所給湯方式**とし、**貯湯式電気温水器とガス給湯器**を設置します。

1 階売店の給湯設備は C 工事対応とします。

2. 給湯器の仕様

・飲雑両用型電気温水器 (床置タイプ) 30L: 各階給湯室、1 階清掃員控室

・電気温水器 (壁掛けタイプ) 3L : 各階トイレ、2・3 階パウダールーム、4 階更衣室

1・2 階授乳室

・ガス給湯器 : 4 階シャワー室

7. 消火設備計画

1. 消火設備概要

消防法の防火対象物用途は、「事務所(15項)」の用途となり、消防法等関係法規に準拠し消火設備を設置します。

2. 消火設備一覧

屋内消火栓の消火ポンプは1階機械室、消火水槽はピット、補助高架水槽は6階屋上に設置とします。

延床面積:約1,0000㎡ (地上6階) 消火設備	設置対象場所	設置対象条件	備考
屋内消火栓 (易操作1号消火栓)	1~6階	耐火構造・内装制限 3,000㎡以上	各階テラスも警戒
連結送水管設備	3階以上	5階 6,000㎡以上	
不活性ガス消火設備	サーバールーム	0	自主設置
消火器	全館	事務所300㎡以上	

8. ガス設備計画

1. ガス設備概要

ガス設備は敷地内に敷設されている**低圧ガス本管**(都市ガス 13A)から分岐して、利用する計画とします。 ガス設備は 4 階シャワー室給湯用にガス給湯器を設置します。本建物と干渉する既存の屋外埋設ガス管は撤 去とします。また、敷地北側道路に敷設されている中圧ガス B 導管を利用したガス空調等の導入についても 検討を行います。

1. 機械設備諸元表 -1 5-6. 機械設備計画

	人員密														空調換	気設備							糸	計水設 [。]	備			
階 室名	床面積	天井高		度	在室			,	災害時				空調設備						換気設備								備考	
- 工	(m i)	(m)		(人	(人)				室使用	夏	期	冬	期	数值		災害時	風	量	方式	局所換	災害時	給水	給湯	排水	排水	がス		
				/1112)						温度°C	湿度%	温度°C	湿度%	ricus	7320	空調	回数	m3/h·人	73.24	気	換気							
1 エントランスホール	418.00	3.50	1463.0	0.1	42	8:30	~	17:30	•	26	成行	22	40	個別	AHU	•	-	30	2種		•	-	-	-	-	-	直膨式AHU想定	
1 市民ギャラリー	60.00	3.50	210.0	0.2	12	8:30	~	17:30	•	26	成行	22	40	マルチ	EHP	•	-	30	HEX		•	-	-	-	-	-		
1 執務室1-1	533.00	3.00	1599.0	定員	94	8:30	~	17:30		26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			0	0	0	-	-	給排水は給湯コーナー用	
1 執務室1-2	300.00	3.00	900.0	定員	45	8:30	~	17:30		26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			0	0	0	-	-	給排水は給湯コーナー用	
1 執務室1-3	47.00	3.00	141.0	定員	7	8:30	~	17:30		26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	-		
1 清掃員控室	21.00	2.40	50.4	0.2	5		24h			26	成行	22	40	個別	EHP		-	30	HEX			0	0	0	-	-		
1 中央監視室	22.00	2.40	52.8	0.2	5		24h			26	成行	22	40	個別	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	-		
1 宿直室	18.00	2.40	43.2	0.2	4	8:30	~	17:30		26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			0	0	0	-	-		
1 売店	75.00	3.00	225.0	0.2	15		24h			26	成行	22	40	個別	EHP		3	-	3種			0	0	0	-	-	法定で必要な換気設備および最低限の給排水設備を実装	
1 廊下1-1	85.00	3.50	297.5	0.1	9	8:30	~	17:30		26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	-	-			-	-	-	-	-		
1 廊下1-2	38.00	2.80	106.4	0.1	4	8:30	~	17:30		-	-	-	=	-	-		-	-	-			-	-	-	-	-		
1 雨水ろ過室	42.00	4.60	193.2				_			-	-	-	=	-	-		5	-	1種			-	-	-	-	-		
1 空調機械室1-1	35.00	4.60	161.0				_			-	-	-	-	-	-		5	-	1種			-	-	-	-	-		
1 倉庫1-1	17.00	4.60	78.2			8:30	~	17:30		-	-	-	=	-	-		5	-	3種			-	-	-	-	-		
1 倉庫1-2	7.00	4.60	32.2			8:30	~	17:30		-	-	-	-	-	-		5	-	3種			-	-	-	-	-		
1 ゴミ集積場	25.00	4.60	115.0			8:30	~	17:30		-	-	-	-	-	-		5	-	3種			0	-	0	-	-		
1 オイルギアポンプ室	14.00	3.00	42.0				_			-	-	-	-	-	-		5	-	3種			-	-	-	-	-		
1 ATMコーナー	29.00	2.40	69.6				_			26	成行	22	40	マルチ	EHP		5	-	3種			-	-	-	-	-		
1 消火ポンプ室	36.00	4.60	165.6				_			-	-	-	-	-	-		5	-	1種			-	-	-		-		
2 執務室2-2	269.00	2.80	753.2	定員	29	8:30	~	17:30		26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			0	0	0	-	-	給排水は給湯コーナー用	
2 執務室2-1	447.00	2.80	1251.6	定員	89	8:30	~	17:30		26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			0	0	0	-	-	給排水は給湯コーナー用	
2 共用スペース・会議室	128.00	2.80	358.4	0.5	64	8:30	~	17:30	•	26	成行	22	40	マルチ	EHP	•	-	30	HEX		•	-	-	-	-	-		
2 会議室2-1	30.00	3.90	117.0	0.5	15		随時			26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	-		
2 消費生活相談室	12.00	2.40	28.8	0.2	3	8:30	~	17:30		26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	-		
2 共用部2	371.00	2.80	1038.8	0.1	38	8:30	~	17:30		26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	2種			-	-	-	-	-	外気処理PACにて給気	
2 廊下2-1	70.00	2.80	196.0	0.1	7	8:30	~	17:30		26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	-	-			-	-	-	-	-		
2 廊下2-2	19.00	2.80	53.2	0.1	2	8:30	~	17:30		-	-	-	-	-	-		-	-	-			-	-	-	-	-		
2 倉庫2-1	30.00	3.90	117.0			8:30	~	17:30		-	-	-	-	-	-		5	-	3種			-	-	-	-	-		
2 ドライルーム	26.00	2.40	62.4			8:30	~	17:30		-	-	-	-	-	-		5	-	3種			-	-	-	-	-		

基本設計図書

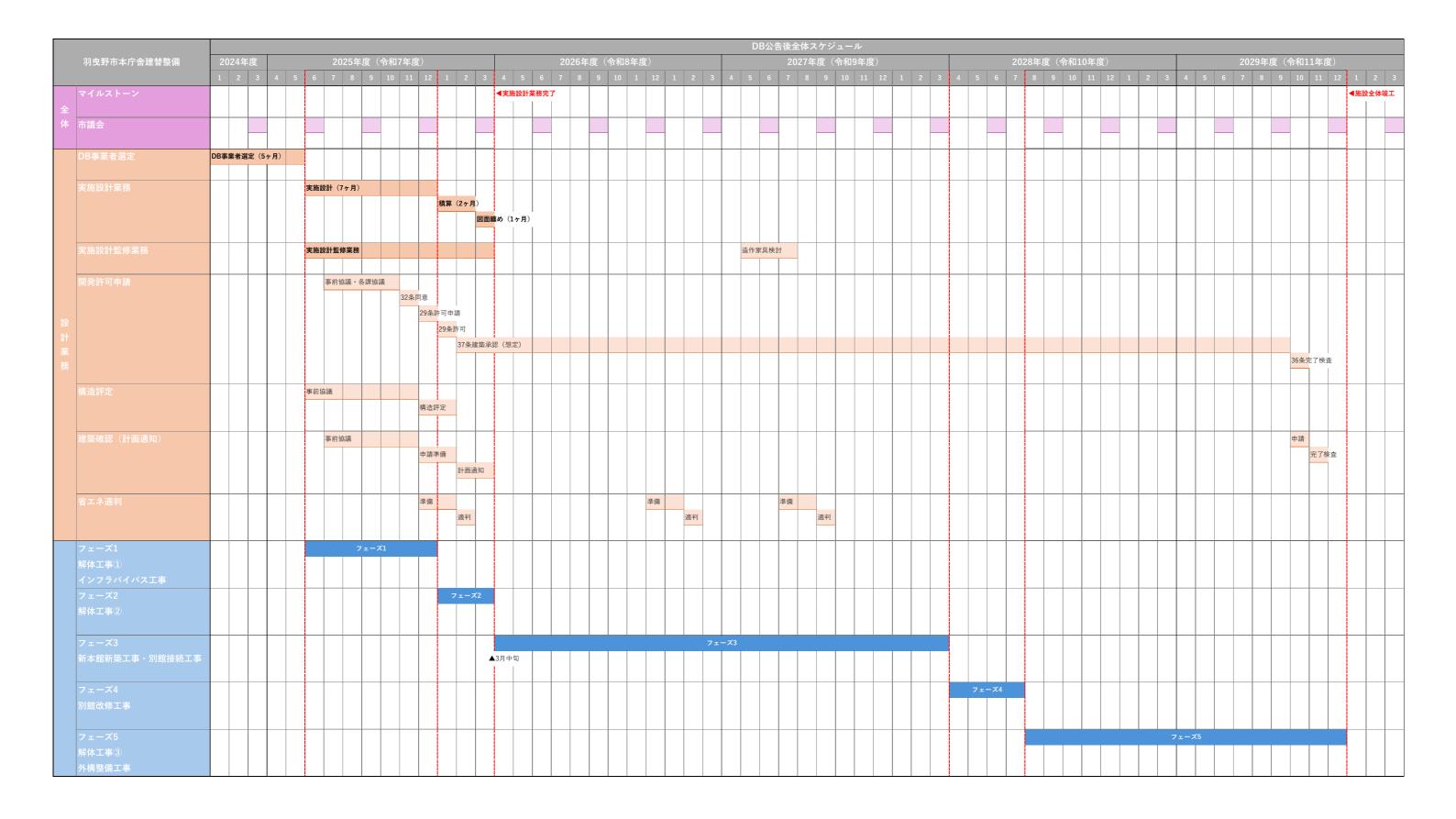
1. 機械設備諸元表 -2 5-6. 機械設備計画

										空調換気設備																	
中	床面積	天井高		度	在室			;	災害時				空調設備	i					換気設備								/ ** =¥
室名 室名	(m)	(m)		(人	(人)				室使用	夏	期	冬	·期	劫诟	±±	災害時	風	量	±±	局所換	災害時	給水	給湯	排水	厨房 排水	都市がス	備考
				/m2)						温度℃	湿度%	温度°C	湿度%	- 然源	方式	空調	回数	m3/h·人	方式	気	換気				271 - 3 -		
3 執務室3-2	323.00	2.80	904.4	定員	56	8:30	~	17:30	•	26	成行	22	40	マルチ	EHP	•	-	30	HEX		•	0	0	0	-	-	給排水は給湯コーナー用
3 執務室3-1	40.00	2.80	112.0	定員	5	8:30	~	17:30		26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			0	0	0	-	-	給排水は給湯コーナー用
3 会議室3-4	35.00	2.80	98.0	0.2	7	8:30	~	17:30	•	26	成行	22	40	マルチ	EHP	•	-	30	HEX		•	-	-	-	-	-	
3 待合スペース	33.00	2.80	92.4	0.2	7		随時			26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	-	
3 応接室	47.00	2.80	131.6	0.2	10		随時			26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	-	
3 執務室3-5	52.00	2.80	145.6	0.2	11	8:30	~	17:30		26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			0	0	0	-	-	
3 執務室3-4	42.00	2.80	117.6	0.2	9	8:30	~	17:30		26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	-	
3 執務室3-3	42.00	2.80	117.6	0.2	9	8:30	~	17:30		26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	-	
3 特別会議室	145.00	2.80	406.0	0.5	73		随時		•	26	成行	22	40	マルチ	EHP	•	-	30	HEX		•	-	-	-	-	-	
3 会議室3-1	45.00	2.80	126.0	0.5	23		随時		•	26	成行	22	40	マルチ	EHP	•	-	30	HEX		•	-	-	-	-	-	
3 会議室3-2(将来執務室)	44.00	2.80	123.2	0.5	22		随時			26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	-	
3 会議室3-3(将来執務室)	76.00	2.80	212.8	0.5	38		随時			26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	-	
3 郵便作業室	18.00	2.80	50.4	0.2	4	8:30	~	17:30		26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	-	
3 印刷室	41.00	2.80	114.8	0.2	9	8:30	~	17:30		26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	-	
3 共用部3 2	227.00	2.80	635.6	0.1	23	8:30	~	17:30	•	26	成行	22	40	マルチ	EHP	•	-	30	2種		•	-	-	-	-	-	外気処理PACにて給気
3 廊下3-1	63.00	2.80	176.4	0.1	7	8:30	~	17:30		26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	-	-			-	-	-	-	-	
3 廊下3-2	45.00	2.80	126.0	0.1	5	8:30	~	17:30		1	-	-	-	-	-		-	-	-			-	-	-	-	-	
3 廊下3-3	96.00	2.80	268.8	0.1	10	8:30	~	17:30		26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	-	-			-	-	-	-	-	
3 集密書架	59.00	3.90	230.1			8:30	~	17:30		-	-	-	-	-	-		5	-	3種			-	-	-	-	-	
3 防災備蓄倉庫	25.00	3.90	97.5			8:30	~	17:30		-	-	-	-	-	-		5	-	3種			-	-	-	-	-	
3 トイレ (執務室3-5)	2.40	2.40	5.8			8:30	~	17:30		-	-	-	-	-	-		15	-	3種			0	0	0	-	-	
4 執務室4-1	404.00	2.80	1131.2	定員	71	8:30	~	17:30		26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			0	0	0	-	-	給排水は給湯コーナー用
4 会議室4-1	57.00	2.80	159.6	0.5	29		随時			26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	-	
4 税コールセンター	17.00	2.40	40.8	0.2	4	8:30	~	17:30		26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	-	
4 男子更衣室	25.00	2.40	60.0	0.2	5	8:30	~	17:30		26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	-	
4 女子更衣室	25.00	2.40	60.0	0.2	5	8:30	~	17:30		26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	-	
4 休憩室	121.00	2.80	338.8	0.2	25	8:30	~	17:30	•	26	成行	22	40	マルチ	EHP	•	-	30	HEX		•	0	0	0	-	-	
4 共用部4	179.00	2.80	501.2	0.1	18	8:30	~	17:30		26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	2種			-	-	-	-	-	外気処理PACにて給気
4 廊下4-1	62.00	2.80	173.6	0.1	7	8:30	~	17:30		-	-	_	-	-	-		-	-	-			-	_	-	-	-	
4 廊下4-2	16.00	2.80	44.8	0.1	2	8:30	~	17:30		=	=	-	-	-	-		-	-	=			-	-	-	-	-	
4 男子シャワー室	16.00	2.40	38.4			8:30	~	17:30		=	=	-	-	-	-		5	-	3種			0	0	0	-	0	
4 女子シャワー室	16.00	2.40	38.4			8:30	~	17:30		=	=	-	-	-	-		5	-	3種			0	0	0		0	
4 倉庫4-1	30.00	3.90	117.0			8:30	~	17:30		-	=	-	-	-	-		5	-	3種			-	-	-	-	-	
4 電話交換室	17.00	2.40	40.8			8:30	~	17:30		-	-	-	-	-	-		5	-	3種			-	-	-	-	-	
4 執務室4-2	128.00	2.80	358.4				24h			24	成行	24	成行	個別	EHP		3	-	3種			-	-	-	-	-	発熱負荷は空調機器にて処理、別途消化ガス排気用排気ファン設置
4 ガス消火用ボンベ室	13.00	2.80	36.4			8:30	~	17:30		-	-	-	-	-	-		-	30	1種			-	-	-	-	-	

1. 機械設備諸元表 -3 5-6. 機械設備計画

	空調換気設備											糸	誹水設備			備考											
階 室名	床面積 天井高 容積 度 人員 利用時間帯 災害時 空調設備 換気設備																										
相 土口	(m)	(m)	(m3)	(人 /m2)	(人)				室使用	戛	期	冬	·期	執循	方式	災害時	風	量	方式	局所換	災害時	給水	給湯	排水	厨房 排水	都市がス	UPD **3
				/ 1112)						温度℃	湿度%	温度℃	湿度%	211/1031	73.20	空調	回数	m3/h·人	73.24	気	換気						
5 議場	38.00	2.80	106.4	定員	45		随時			26	成行	22	40	個別	AHU		-	30	HEX				-	-	-	-	直膨式AHU想定
5 傍聴席	51.00	2.80	142.8	定員	32																						
5 議会事務局	312.00	5.00	1560.	0 定員	6		随時			26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			0	0	0		-	給排水は給湯コーナー用
5 正副議長室	51.00	2.80	142.8	0.2	11		随時			26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	-	
5 応接室	35.00	2.80	98.0	0.2	7		随時			26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	-	
5 委員会室	39.00	3.00	117.0	0.2	8		随時			26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	-	
5 議員控室1	19.00	2.80	53.2	0.2	4		随時			26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	=	
5 議員控室2	19.00	2.80	53.2	0.2	4		随時			26	成行	22	40	マルチ	EHP		=	30	HEX			-	-	-	-	=	
5 議員控室3	19.00	2.80	53.2	0.2	4		随時			26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-		İ	
5 議員控室4	19.00	2.80	53.2	0.2	4		随時			26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	-	
5 議員控室5	19.00	2.80	53.2	0.2	4		随時			26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	_	
5 議員控室6	19.00	2.80	53.2	0.2	4		随時			26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	1	-	ì	
5 全員協議会室	65.00	4.00	260.0	0.5	33		随時			26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	=	-	=	
5 面談室5-1	12.00	2.40	28.8	0.2	3		随時			26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	=	
5 面談室5-2	12.00	2.40	28.8	0.2	3		随時			26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	=-	
5 面談室5-3	10.00	2.40	24.0	0.2	2		随時			26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	-	
5 相談室5-1	10.00	2.40	24.0	0.2	2		随時			26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	=-	
5 相談室5-2	10.00	2.40	24.0	0.2	2		随時			26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	=	
5 議会図書室	42.00	2.80	117.6	0.2	9	8:30	~	17:30		26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	-	
5 共用部5	80.00	5.00	400.0	0.1	8		随時			26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	-	
5 廊下5-1	70.00	5.00	350.0	0.1	7		随時			26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	-	-			-	-	-	-	-	
5 廊下5-3	37.00	2.80	103.6	0.1	4		随時			-	-	-	-	-	-		-	-	-			-	-	-	-	1	
5 廊下5-2	250.00	2.80	700.0	0.1	25		随時			26	成行	22	40	マルチ	EHP		5	-	3種			-	-	-	-	1	
5 倉庫5-1	15.00	6.10	91.5			8:30	~	17:30		-	-	-	-	-	-		5	-	3種			-	-	-	-	-	
5 防災無線室	15.00	6.10	91.5			8:30	~	17:30		26	成行	22	40	マルチ	EHP		5	-	3種			-	-	-	-	=	
5 空調機械室3-1	40.00	6.10	244.0	,		8:30	~	17:30		-	-	-	-	-	-		5	-	1種			-	-	-	-	=	
5 録音室	16.00	6.10	97.6				_			26	成行	22	40	マルチ	EHP		5	-	3種			-	-	-	-	-	
6 歴史展示ギャラリー	54.40	2.80	152.3	0.2	11	8:30	~	17:30		26	成行	22	40	マルチ	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	-	
6 あおぞらカフェ	72.60	2.80	203.3	0.2	15	8:30	~	17:30	•	26	成行	22	40	マルチ	EHP	•	-	30	HEX		•	0	0	0	-	-	
6 廊下-1	67.00	4.00	268.0	0.1	7	8:30	~	17:30		26	成行	22	40	個別	EHP		-	30	HEX			-	-	-	-	-	
各階 男子WC		2.40				8:30	~	17:30		-	-	-	-	-	-		15	-	3種			0	0	0	-	-	
各階 女子WC		2.40				8:30	~	17:30		-	-	-	-	-	-		15	-	3種			0	0	0	-	-	
各階 多目的WC		2.40				8:30	~	17:30		-	-	-	-	-	-		15	-	3種			0	0	0	-	-	
各階 授乳室		2.40				8:30	~	17:30	•	26	成行	22	40	マルチ	EHP		5	-	3種			0	0	0	-	-	
各階 男子パウダールーム		2.40				8:30	~	17:30		-	-	-	-	-	-		5	-	3種			0	0	0	-	=	
各階 女子パウダールーム		2.40				8:30	~	17:30		-	-	-	-	-	-		5	-	3種			0	0	0	-	-	

1. 概略事業スケジュール



2. 現庁舎機能を維持し、安全性に配慮した建替計画

新本館が完成するまでの期間、**庁舎運営に配慮し仮設庁舎なしで現庁舎**(**01:庁舎棟**)が利用 **可能な計画**とします。工事のフェーズについては以下のような手順で進めることを想定します。

- ・フェーズ 0:敷地南仮設駐車場整備
- ・フェーズ 1-1:解体工事①

インフラバイパス工事に干渉する給油所を先行で解体します。

・フェーズ 1-2: インフラバイパス工事

新本館建設地に位置するインフラを既存棟が機能を維持できるようにバイパス工事をします。

・フェーズ 2:解体工事②

新本館建設地及び近辺に位置する既存棟を解体します。

・フェーズ 3:新本館新築工事

別館への渡り廊下接続工事及び耐震補強工事はこのフェーズで行います。

・フェーズ 4: 別館改修工事

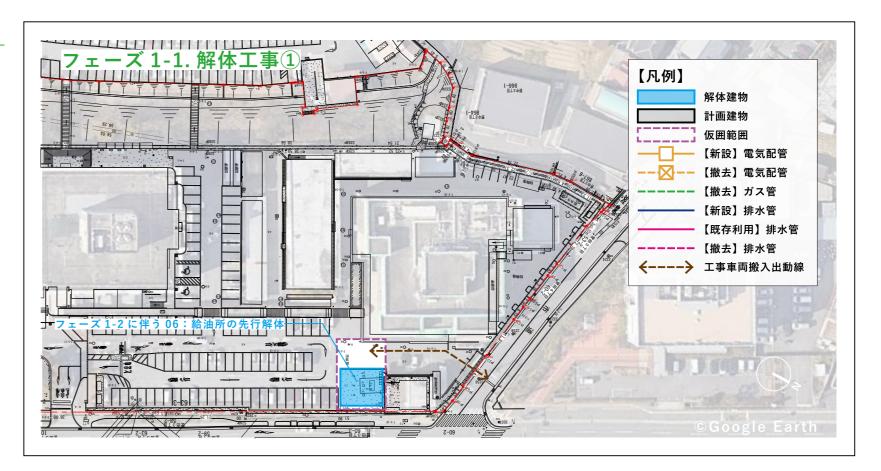
内装の改修を中心に行い、一部耐震補強に伴う外装改修及び補修を行います。

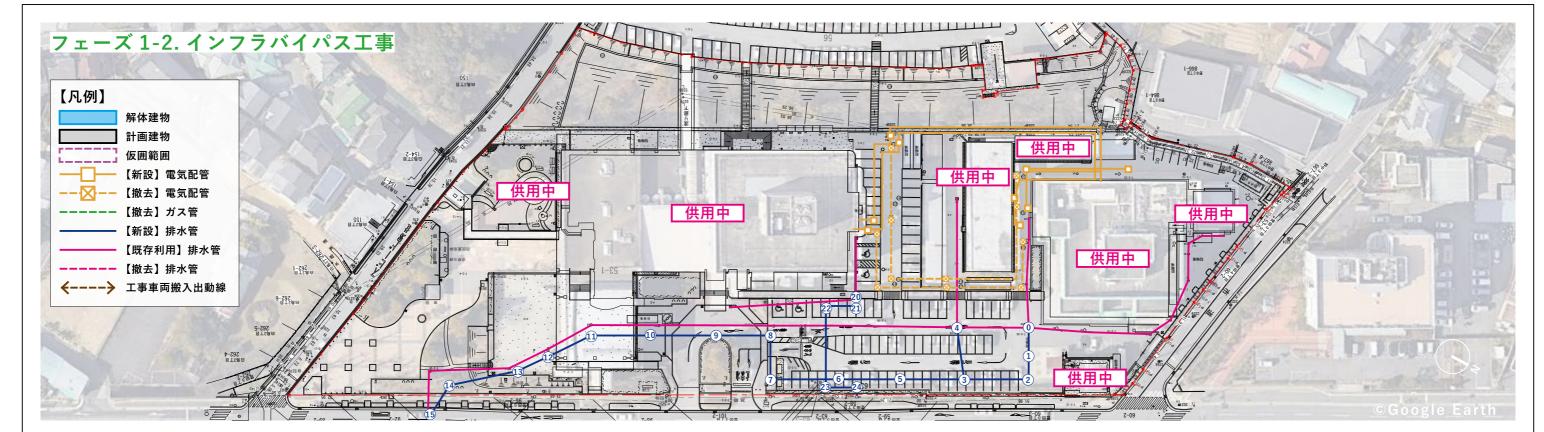
・フェーズ 5-1:解体工事③

残りの解体予定建物を全て解体します。同時に工事可能な外構は整備を開始します。

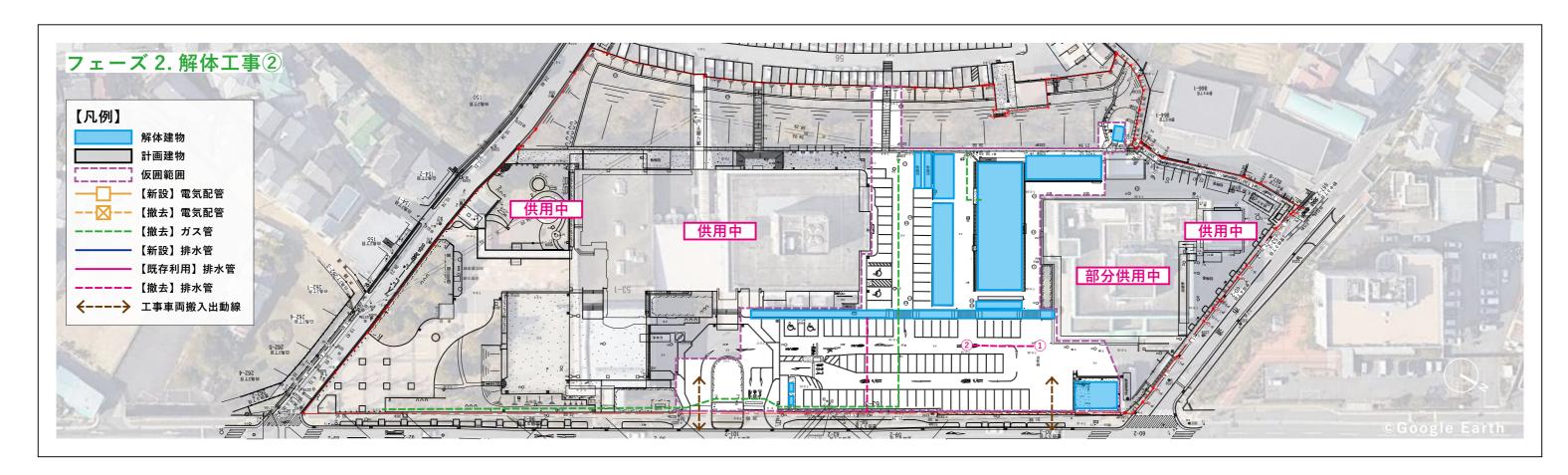
・フェーズ 5-2:外構整備工事

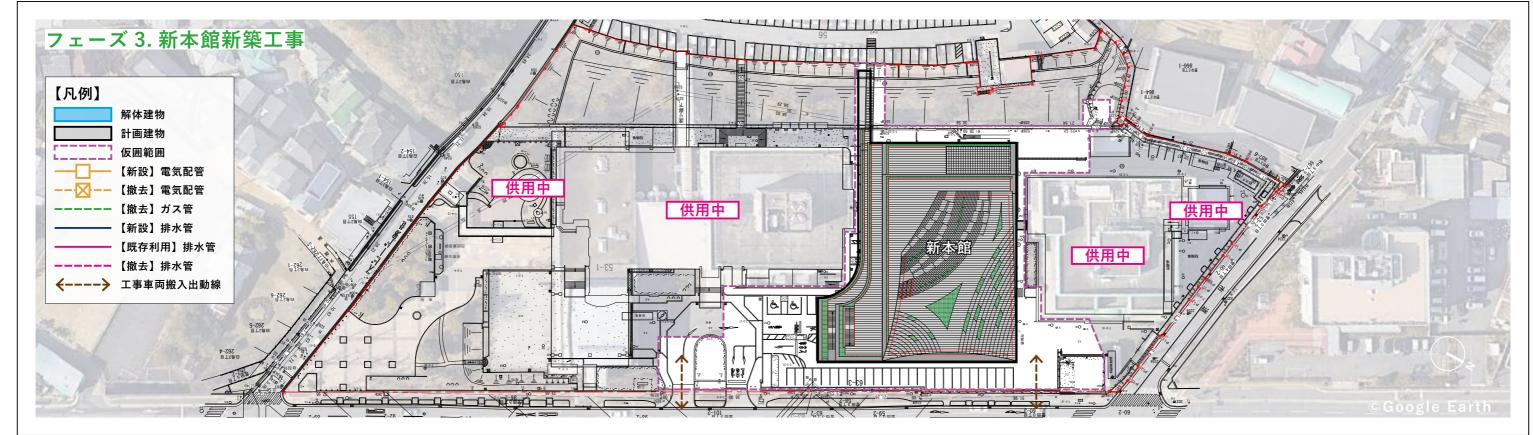
残りの全ての外構工事を完了させ、施設全体竣工となります。



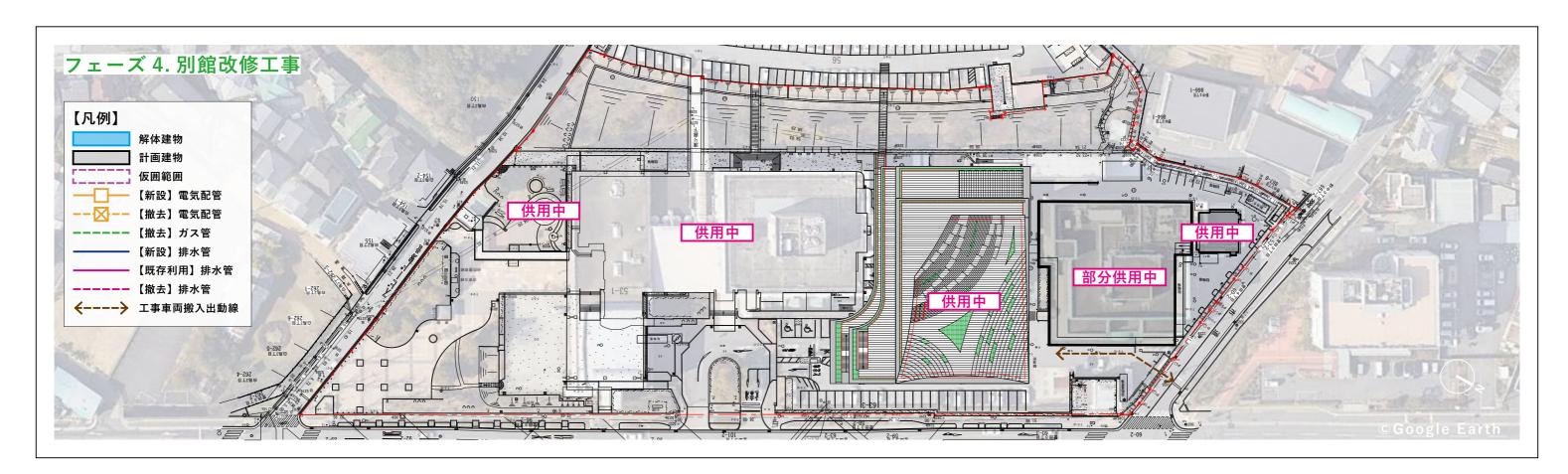


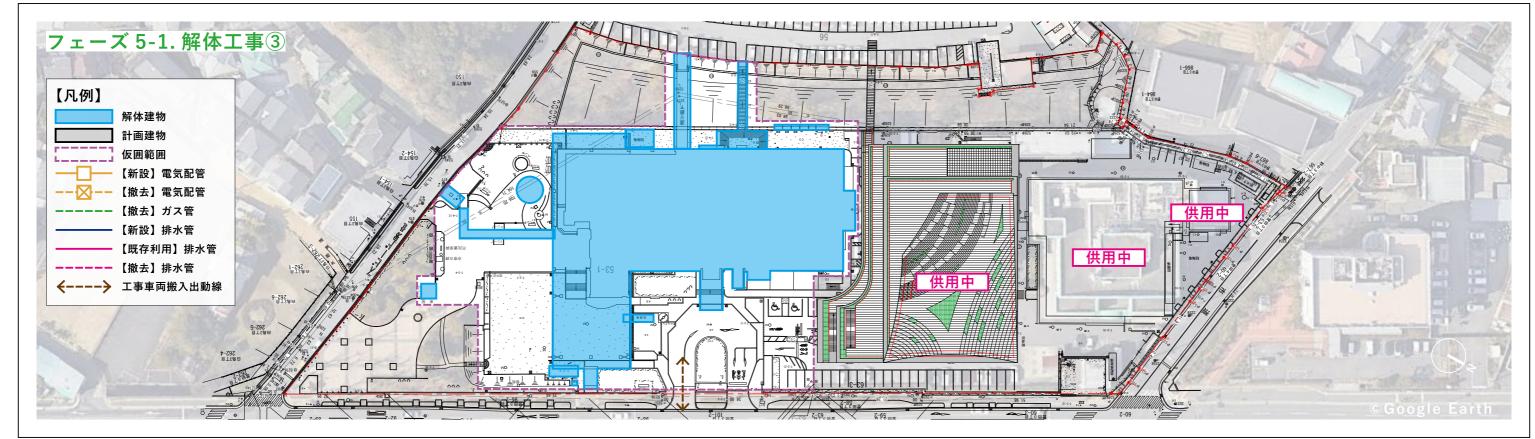
基本設計図書



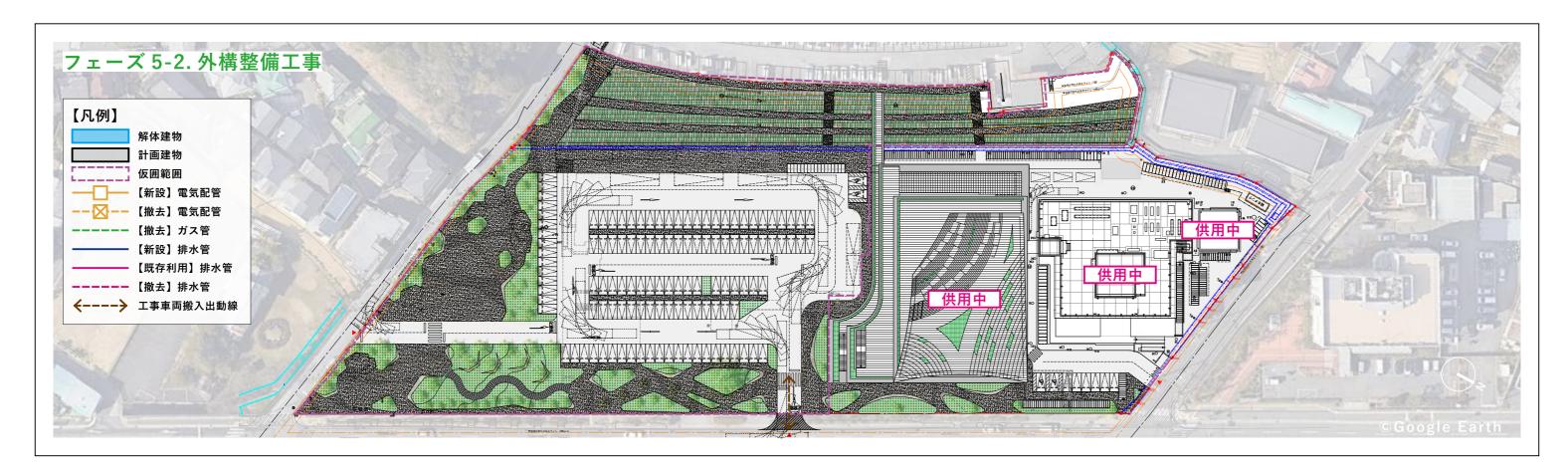


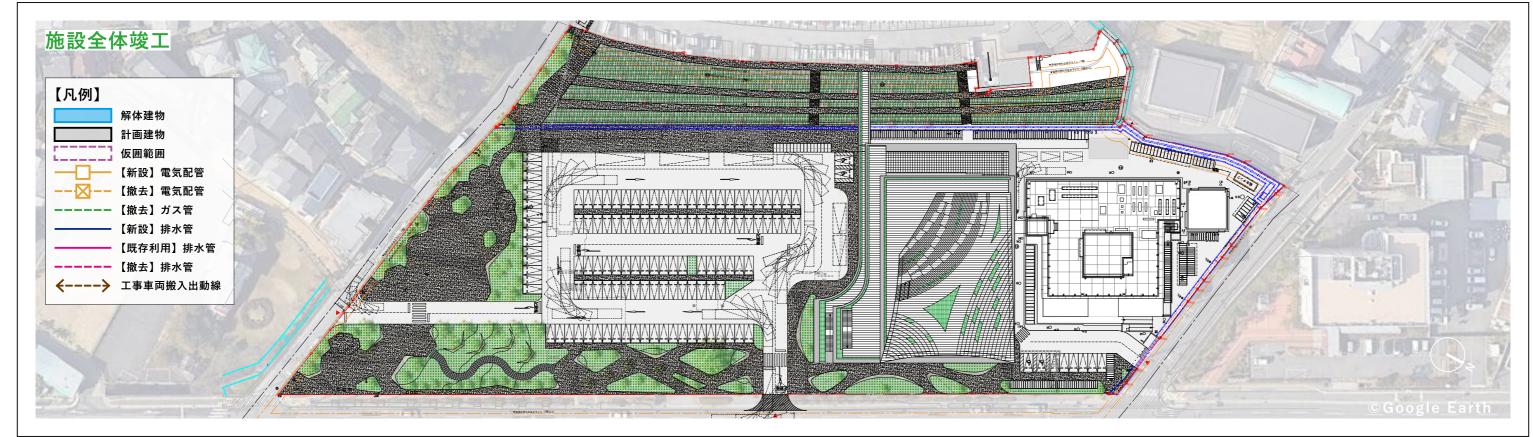
基本設計図書





2. 工事ステップ・仮設計画概要 -4





3. 調査及び設計上の留意事項

7. その他

1. 地質調査

地質調査については【別添資料1】地質調査報告書を参照。

2. 土壌汚染対策調査

土壌汚染対策調査については【別添資料 2】土壌汚染対策調査報告書を参照。

3. アスベスト調査

アスベスト調査については【別添資料 3】アスベスト調査報告書を参照。

4.PCB 調査

PCB 調査については【別添資料 4】PCB 調査報告書を参照。

5. 電波障害机上調査

電波障害机上調査については【別添資料 5】電波障害机上調査報告書を参照。

6. 設計上の留意事項

- ・実施設計の検討にあたっては、「**基本設計図書」に記載された内容の品質・性能以上**であることに留意して 実施してください。
- ・設計条件については、原則として「基本設計図書」を遵守し、「基本設計図書」の記載内容の品質・性能以上であると市及び実施設計監修者と検討・協議の上、変更を可とします。
- ・事業者は提案書に基づき、「基本設計図書」に示す内容について、意匠(昇降機を含む)・構造・電気設備・機械設備・外構の各要素についてデザインと技術の両面にわたり細部の検討を行ってください。
- ・建物内部のサイン工事については別途工事とします。
- ・什器、備品の設計、選定については**意匠性に十分に配慮**した上、**実施設計監修者と調整**してください。
- ・地震波については、契約後の実施設計段階において事業者が再検証を行い、より合理的な構造計画が実現 可能と判断できる場合は、実施設計条件としての採否について羽曳野市(以下、本市とする。)との協議を 行ってください。なお、本市と協 議のうえ、再検証による地震波を採用することとなった場合においても、 免震構造による性能評価及び大臣認定の取得など、必要となる手続きについては事業者の責任により適切に 行ってください。